

vol.38 july. 2022



拓海

「海」を切り開く匠の業と心

CONTENTS

2022年 出会い	
入学特集	
入学・進学のみなさんへ	3
在学生から新入生のみなさんへ	7
先輩留学生から新入生のみなさんへ	13
大学での学び方	14
卒業生より 業界で活躍しているOB・OGの方々	25
新任教員の紹介	27
自治委員会報告書	28
大学祭特集～海王祭～	29
ニュース&トピックス	30
就職情報	33
学生相談室からのお知らせ	37
お知らせ	40

◆2022年 出会い

■入学特集

◎入学・進学のみなさんへ

- 「自己効力感を高めよう！」 井関 俊夫……③
 大学は何をすところか？ 黒瀬 光一……④
 多様性を身に付けよう 元田 慎一……⑤
 貴い命と時間を大切に 田中 祐志……⑤
 AlternativesとDiversityのはざままで
 兵藤 哲朗……⑥

◎在学生から新入生のみなさんへ

- 新入生へのメッセージ 小柳 文乃……⑦
 素敵な思い出づくりを 千田奈津子……⑦
 「明日に向かってようそろ」 浅野 柊馬……⑧
 在学生から新入生のみなさんへ 森山 湧介……⑨
 4年間の可能性 小野 拓海……⑨
 『在学生から新入生へ』 陳 毅斌……⑩
 幅広い視野を 佐治 圭輔……⑩
 「海洋大生になるために」 富永 果枝……⑩
 「継続は力なり」 船田 悠平……⑪
 新入生の皆様へ 原 亮介……⑪
 1年生のうちから心がけること 重村 篤希……⑫
 新入生の皆さんへ 阿部 頌……⑫

◎先輩留学生から新入生のみなさんへ

- 留学生の皆さん 王 柳……⑬

■大学での学び方

◎学科の特色ある実習の紹介

- 船用ディーゼル機関実験実習装置を
 使用した実験・実習 佐々木秀次……⑭
 海洋学実習Ⅰ・Ⅱ 溝端 浩平……⑮

◎実習感想記

- 実習感想記 児玉 侑也……⑯
 実習感想記 田所真穂果……⑯
 実習感想記 渡部 礼音……⑰
 実習感想記 五間岩里樹……⑰
 実習感想記 丸山 祐亮……⑱
 実習感想記 濱田 篤志……⑱
 実習・実験感想記 尾形 凜……⑲
 実習感想記 松本 幸果……⑲

◎資格取得に向けて

- 国家公務員総合職(教養区分)合格に向けて
 丸田 裕太……⑳
 小型船舶免許一級取得 古賀マリア……㉑

◎大学院で学べること

- 海洋管理政策学専攻 若森 大悟……㉒
 応用生命科学専攻 天野 雄一……㉒
 食機能保全科学専攻 萩原 知明……㉒

◎卒業論文・修士論文への取り組み方

- 「卒業論文への取り組み方」 津田 真咲……㉓
 卒業研究への取り組み方 占部 智子……㉓
 修士論文への取り組み方 中村 柚咲……㉓

■業界で活躍しているOB・OGの方々

- 卒業生として在学生の皆様へアドバイス
 したいこと 勘塚 弘治……㉔
 チャレンジ 原武 秀美……㉔

■新任教員の紹介

- 海洋生物資源学部門 宮本 隆典……㉕
 海洋資源エネルギー学部門 淵田 茂司……㉕

■自治委員会報告書

- 品川キャンパス自治委員会 ……㉖

■大学祭特集

- 海王祭の紹介 大塚 優毅……㉗

■ニュース&トピックス

- 令和3年度学位記・修了証書授与式を
 挙りました ……㉘
- 令和3年度学生表彰授与式、
 学業優秀学生奨学金授与式、
 学会等各賞表彰式を行いました ……㉙
- 令和4年度入学式を挙りました ……㉚

■就職情報

- 令和3年度卒業者の就職先 ……㉛

■学生相談室からのお知らせ

- 学生相談室について ……㉜
- 令和4年度学生支援教員 ……㉝
- 本学の学生相談体制について ……㉞

■お知らせ

- 交換留学をしてみませんか？ ……㉟
- 国立科学博物館および
 国立美術館の利用について ……㊱
- 緊急時連絡システムについて ……㊲
- ネットワーク障害防止のための注意事項 ……㊳
- 東京海洋大学校友会のご案内 ……㊴
- 掲示板 ……㊵

2022年 出会い

入学特集

入学・進学のみなさんへ

「自己効力感を高めよう！」

学長
井関俊夫

新学期が始まって3ヶ月ほど経ちました。3年ぶりの行動制限なしのゴールデンウィークもあったという間に過ぎ去り、新入生の皆さんも新しい生活に慣れてきた頃ではないでしょうか。新型コロナウイルス感染症の重症化率は下がってきたと言われていますが、後遺症で長期間苦しむケースも報告されています。今後も感染対策を疎かにせず、勉強や研究、そして課外活動等に真剣に取り組み、充実した毎日を過ごして欲しいと思います。

話は変わりますが、先日、遠隔で出席した講演会の中で、「世界を動かすイノベーターの条件（メリッサ・A・シリング著）」という本が話題に上り、非常に興味が湧いたので早速購入して読んでみました。その本では、画期的なイノベーションを繰り返し生み出した人物としてマリー・キュリー、トマス・エジソン、アルバート・アインシュタイン、スティーブ・ジョブス、イーロン・マスクなど、10名ほどの人物を取り上げ、個々の性格的特徴や履歴に着目し、ケーススタディによる興味深い調査結果が多数示されていました。結果のひとつとして、「先駆的イノベーターは不可能とされていることを実現可能と信じる傾向があり、失敗する可能性が高くてもそれを追求する意欲を持っている」という特異な資質を指摘し、その源として「自己効力感（self-efficacy）」という心理学用語を用いて説明していました。自己効力感とは、自分に備わった問題解決能力と目標達成能力に対する信頼のことで、いわゆる「成功体験」から得られる自信が代表的なものですが、実際はそれ



だけではなく、他人の成功体験から学ぶ「代理的体験」や上司や先輩から励まされる「言語的説得」などが含まれるそうです。つまり、意識さえすれば、皆さんも自分の中に「自己効力感」があることを自覚できると思います。また、その本の中では、イノベーター達は抜群の「自己効力感」を持っているので、一般人からは、常識的に不可能な課題に対しても果敢に挑戦し、超人的な努力と粘り強さを発揮し、奇跡的な成功を収めてしまうと述べています。さらに興味深いことに、「自己効力感は自己強化される」そうで、イノベーターは次々と新しい難題に挑戦し、自己効力感を向上させ続ける傾向があるため、一般人からは、頻繁に「リスクを追求」したり、「リスクを許容」したりする傾向があると認識されるそうです。

この話は人間の精神面だけではなく身体的能力にも当てはまるようです。先日、テレビで偶然「パルクール」という新しい都市型スポーツのスペシャル番組を視ま

した。壁や障害物が不規則に並ぶ空間で、息を呑む跳躍と、着地後の流れるような身のこなしで、機敏な移動を繰り返す競技で、一目見た瞬間に「最近の若者はメチャクチャ危険なことをするなあ」と驚かされました。しかしながら、彼らの日々の練習や、パルクール教室で小学生がみるみる上達する様子を見ると、まさに「自己効力感」が恐怖心を微妙に抑制し、少しずつ身体的能力の限界を押し上げているのだと理解しました。そして、一般人の理解を超えた領域に到達してしまうことを考えると、前述の本に述べられる人物達がイノベーションを起こす過程と全く同じであると思いました。

私がこのような話をする理由は、皆さんの中から地球温暖化、カーボンニュートラル、マイクロプラスチック、環境ホルモンなど、海洋も関わる極めて解決困難な課題に挑戦するイノベーターが現れることを期待しているからです。皆さんも、意識的に自ら進んで困難な問題に挑み、それらを解決して、成功体験を積み重ねて行って欲しいと思います。また、前述の本には、画期的なイノベーションを起こすためには「ちょうどいいタイミングで、ちょうどいい場所に居合わせること」が重要であるとも述べられています。東京海洋大学に在籍する皆さんが、今まさにその状況にあると信じています。どうか、在学中に自己効力感を十分に高めて欲しいと思います。



大学は何をするところか？

海洋生命科学部長

黒瀬 光一



苦しい受験勉強を乗り越え、晴れて本学の学生となった皆さんに一つ尋ねたいことがあります。大学は何をするところでしょうか？

皆さんの学生生活はまだ始まったばかりで、そのようなことを考えたことはないかも知れませんね。私自身振り返ってみますと、学生時代に経験した様々なことが、今の自分を形作っているといっても過言ではないくらい、学生時代は人生の中で重要な時期であったと思っています。学生生活の中心にあるのが大学ですが、いったい大学は何をするところなのでしょう？

私なりの見解を少しお話ししたいと思います。

皆さん学生の視点からは、大学は教育を受け、研究をおこなうところである、ということになるかと思います。一口に教育といっても、高校までのそれとは異なり、内容は各教員が自由に考え、また、必ずしも、定まった答えのない場合も多い。したがって、教育を受ける皆さんは高校までの勉学に対する姿勢を変え、問題意識をもって、自分の頭で考えることが求められます。

また、4年生になると卒業論文を書くために研究室に入り、1年にわたり研究をおこなうこととなります。世界中の誰も答えを知らない未知への知的チャレンジの始まりです。研究成果を出すことはとてもワクワクすることですし、そのためにはもちろん、3年生までに修得した知識や、それまでに訓練してきた、自分の頭で考えて問題を解決する能力がものをいいます。

そして、卒業研究を経てその成果を論文にまとめるという作業は、皆さんがこれから社会に出て自分の人生と未来を切り開いていく上で、とてもよい訓練になるでしょう。知識も大事ですが状況に応じた情報収集、論理的思考、論理的文章作成能力などが求められます。

また、研究室やサークル活動などを通じて、同級生をはじめ先輩、後輩、教職員など、多くの人と出会い、生涯にわたり強い絆で結ばれるような関係が生まれることもあるでしょう。

皆さんに、そのような場を提供するところ、それが大学であり、東京海洋大学であると私は思っています。

皆さんが、自分自身の手で、本学・海洋生命科学部での4年間に有意義なものにされることを祈念いたします。

多様性を身に付けよう



海洋工学部長
元 田 慎 一

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症と対応する中で、みなさんも大変な苦勞をされたことと思います。大学も感染予防のため活動を停止とする方針を転換し、対面授業を中心として教育活動を再開しました。マスクの着用や普通教室での授業、部活動も制限されるなど、みなさんのキャンパスライフはまだ通常に戻ったとは言えない状況ですが、“during the COVID-19 pandemic”（ウィズ・コロナの英訳）における新しい生活様式で運営を進めていきたいと考えています。みなさんも昨年までの閉塞した環境から外に出て、同期、先輩・後輩と交わり、キャンパスを人間形成の場として利用して下さい。

さて、私は、いつも新入生に対して、「大学に来た価値は何か？」と問います。答えは人それぞれだと思いますが、その一つに多様性（Diversity）を身に付けることがあると考えます。大学は偏差値という単一の評価軸はありません。成績評価にGPAはありますが、それだけで優秀という判断はできません。いろいろな能力、得意分野を持ち、知識、教養だけでなく、リーダーシップ力、コミュニケーション力を身に付けた人が就職も含め実社会で評価されると考えます。今回のコロナ禍についても、ここまで状況が悪くなるとは予想していませんでした。でもこのような困難で理不尽な社会を受け入れて適応できる能力は、個人的にも社会的にも必要であり、その最たるものが多様性と考えます。みなさんの今後の人生の中でも様々な「想定外」があるかもしれない。でもどんな状況になっても複数の選択肢を立てて、その中から最適解を選べる能力を身に付けることができる事が大学に来た価値のひとつだと思います。本学には海外留学制度もあります。ぜひ積極的に活用して、多様な文化、知識、価値観を吸収して多様性を身に付ける一助にして下さい。我々もみなさんをサポートします。頑張っって一緒に学んで行きましょう。

貴い命と時間を大切に



海洋資源環境学部長
田 中 祐 志

世界は矛盾に満ちている。欺瞞、暴虐、不条理、不公平、……。個人には太刀打ちできない巨大な壁や流れが確かにある。だからといって流されるままに生きようとするのは、大学まで来て自発的に学ぶ者の態度ではない。これからの4年間は、大いに学び、流されないための備えを整える時間だ。

大学に来た諸君は自らの力でそのための貴い時間を得た。これを大切にしなければもったいない。そもそもこの世に生を受け今も命あることが奇跡であり貴い。さらにこれまで様々な人や組織さらに国家に支えられてきた。諸君には恩を返す責任がある。誰の世話にもなっていないなどと信じているならそれは大きな思い違いだ。生まれて此方を静かに顧みれば分かる。学生には少なからぬ国家予算が注ぎ込まれる。皆が苦勞して稼いだお金だ。大学での時間を与えられた諸君にはこの間に国と世界に有用な人に育つ義務と責任がある。

では勉強ばかりしていれば良いのか？そもそも勉強するとは何か？知識を増やし技術を修めるだけではない。受け身の人は知識や技術がぎっしりと詰め込まれていてもデータやプログラムを突っ込まれたコンピュータかロボットと違わない。百年後は知らないが善悪の判断を下すのはコンピュータではなく人であるべきだ。人の脳には時間的にも空間的にも無限小から無限大までを瞬時に行き来し異なる階層の事象を繋げる力がある。あらゆる情報を柔軟に分析し善悪を自ら判断する。その柔軟さは一見余分な知識や経験がもたらす。だから教室の外でも書を読み人と交わり多様で豊かな知識と経験を積むことを勧める。

諸君、大学生としての4年間は人として豊かな知識と経験に基づいて柔軟に自主的に考え判断する習慣と能力を身につける時間である。世界は疫病と戦禍で乱れている。信じ難いが21世紀の今なおこれが現実だ。明るい未来のために諸君の力が必ず要る。与えられた貴い命と時間を大切に過ごされるよう心から願う。

AlternativesとDiversityのはざままで



大学院海洋科学技術研究科長

兵藤 哲朗

大学院に進学または入学された皆さん、遠隔授業などコロナ禍の環境にも慣れ、徐々に通常の研究環境に戻りつつあると思います。ここでは少し変わった視点で皆さんが迎えた大学院生活についてお話したいと思います。

先日、ラジオドラマを聴いていたら、30歳を越えた女性主人公が、10年前の修士課程時代を振り返った興味深いセリフが流れました。

「修士課程に進学したのは選択肢を狭めたかったから。自分に見合う選択肢を見つけるのが才能を見出すことだと思っていた。しかし才能のある人ってそもそも選択肢なんかないんだよね」

「才能のある人…」は別にして、このセリフの通り、大学院に進学するという事は、徐々に自分の人生の可能性を絞り込むことでもあります。皆さんも、学部と大学院との間には強い「連続性」があるとともに、

自身の選択肢も明確になってきたと思います。この「絞り込み」により、皆さんの専門性やその希少性が高まるのですから、これは歓迎すべきプロセスと言えます。その一方で、Diversityの低下も避けられないでしょう。小学校→中学→高校→学部 という過去を振り返れば、それは徐々に「似た者同士」で構成される集団への帰属プロセスであったと思います。世間一般でいわれるDiversityは逡減してきたのではないのでしょうか。しかしこれも憂慮することはありません。Diversityは絶対値ではなく、相対値であるはずで。研究生生活を始めた皆さんが周りを見回せば、留学生や社会人博士課程学生、そしてこれから学会などで知り合う他大学の学生など、数は多くないものの今までの価値観と異なるDiversityとの出会いがあるはずで。時には、このAlternativesとDiversityについて現在の自分の評価値について思いを馳せてみてください。

実りある大学院生活となることを心よりお祈りいたします。



2022年 出会い

入学特集

在学生から

新入生のみなさんへ

新入生へのメッセージ

海洋生命科学部 海洋生物資源学科3年

小柳文乃

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。私から皆さんに伝えたいことは、大学生活では自分の選択が1番大事だということです。興味のあることを思う存分追究できる一方で、自由度が高い分、自分から動かなければ何も得ずに過ごすこともできてしまうのが大学です。

2年生の終わりに、絶滅危惧種の保全の研究をされている先生に「ここで研究がしたいです」と伝えたとこ、すぐ「いいよ」と言われて、3年から飼育や実験をしています。研究室の先輩や先生方も、3年生の私を快く受け入れてくださり、授業やサークル、アルバイトと両立しながら毎日成長が感じられる、非常に充実した日々を全力で楽しんでいます。

皆さんには、1年生のうちから関心のあることに果敢に挑戦することはもちろんのこと、今まで興味を持つことのなかったことにも耳を傾けて、めいっぱい視野を広げてほしいと思います。失敗や挫折も経験すると思いますが、失敗しても受け止めてくれる環境は常に整っています。大学では失敗を恐れるよりも、気になったら手を出してみて、失敗したら、どう活かせるかを考えることが大切です。

同時に、頼れる仲間を増やしてほしいと思います。大学でいろいろな経験をする中で、個性豊かな同期や、頼れる先輩、頼ってくれる後輩を持つことは、私のいままでの大学生活の中で得た最も大事なものです。

最後に、皆さんの大学生活が実りあるものになることを願っています。



(左上) タナゴの仔魚への細胞移植
(右上と左下) 教授にいただいたおやつ
(右下) ラボで自身が作ったパンケーキ

素敵な思い出づくりを

海洋生命科学部 食品生産科学科3年

千田奈津子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。入学してから3ヶ月が経ち、自由な時間を手に入れて大学生活を謳歌していることでしょう。

さて、素敵な大学4年間を過ごすために私から皆さんにお伝えしたいことは、「思い出をたくさん作ろう」です。子供じみた呼びかけだと感じるかもしれませんが、

充実した大学生活とは多くの思い出をつくることに直結するのではないかと思います。私が考える、「思い出作り」に最も重要なことは「諦める、やらない」というネガティブな選択肢を捨てて、迷ったら行動することです。私は新型コロナウイルスの影響により1、2年生の約半分の期間は大学に通うことができませんでした。そんな中、2度参加した海外探検隊のプログラムはいずれも中止という結果に終わりましたが、事前学習会において出会った仲間から英語力や考え方など刺激をうけ、非常に良い経験、思い出として残っています。正直、当初は参加するか否か迷いましたが、参加という選択をして本当に良かったと感じています。また、コロナ禍においてオンラインではなく、実体験できる機会の重要性、貴重さに改めて気がつき、現在は「今できることを身をもって存分に楽しむ」というスタンスで学業、部活、アルバイトに全力で取り組み、「思い出作り」に励んでいます。その当時は大変だったことも過去の思い出となった時には笑い話になったり、辛い時に「あの時に頑張れたから」とモチベーションになったりと、必ず将来の自分にプラスに働きかけてくれると思っています。

大学生活は長いようで、想像以上に一瞬で過ぎ去ってしまいます。皆さんには大学生の間に様々な面で積極的に行動し、「何となく過ごした4年間だった」ではなく、ぜひともたくさんのエピソードが詰まった思い出の引き出しとともに卒業を迎えてほしいと願っています。



ドーナツビュッフェにて (筆者：写真中央)



「明日に向かってようそろ」

海洋生命科学部 海洋政策文化学科3年

浅野 柊馬



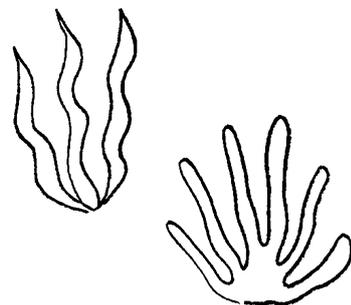
新入生の皆さま、海洋大へのご入学誠にありがとうございます。

大学生活が始まって、研究にサークル、バイトと忙しい日々を送られているでしょうか。

そんな中皆様に伺ってみたいことがあります。それは、皆様が大学でどのような目標をもって活動するのかということです。

高校までの学習だと、問題には正解があります。しかし、大学で扱う内容では、正解という概念とはほど遠い問題を扱うことが多々あります。その際に重要になってくるのは広い視野を持つことです。海洋大では、問題解決のために幅広い視野を体験することが可能であり、特に政策学科においてはその幅広い視野が問題解決能力に直結してきます。しかし、逆に広すぎる視野を持ってしまいが故に自分の行くべき道、達成すべき目標がわからなくなってしまいう学生というのも一定数存在します。

その際に、初心に帰り自分の最初の目標は何だったかを思い出すことはきっと皆さんの助けになります。そのためには海洋大に入った段階で目標を持つといいと思います。凄く大きな目標、例えば日本漁業のデジタル化を全国で推し進める！でも或いはバイトで月2万円家に入れる！など形は違えども目標・やりたいことを持つことで、未来の自分に繋がっていくと思います。皆様のこれからのご活躍に期待すると同時に、その手助けが出来れば幸いです。まずは思いっきり大学生活を楽しんでください！



在學生から新入生のみなさんへ

海洋工学部 海事システム工学科4年

森山 湧介

新入生の皆さん、コロナの影響で何かと大変なことと思います。対面がオンラインとなってしまった講義も多く、大学で新しい友人や先輩との関係を作ることが通常より難しいと感じている新入生も少なくないと考えます。友人や先輩がまわりになれば、授業や先生などの情報が入手しやすくなり、また相談も対面でできるという大きなメリットがあります。こうした時だからこそ私は、新入生には課外活動団体に入部することをおすすめします。私は大学で球技をしたかったので、入学してすぐにネットボール部に入部、2年生の後半からネットボール部の部長を務めました。ネットボールはバスケットボールのルールに近く、制限されたエリアからシュートを打つことでポイントを稼ぐスポーツですが、ドリブルと接触が禁止というルールに特徴があります。1チーム7人で試合を行う一方、ポジションごとに動ける範囲や役割が異なるため、スポーツ経験者はもちろん、あまりスポーツをやってこなかった人でも活躍することができます。コロナの影響で部活が思い通りに実施できない時期もあり、部員は少なくなっています。ただ今年度からは、例年のように練習を行うことができるようになってきており、部員の数も増えつつあります。新入部員を募集しておりますので、球技をしたい方、運動不足を感じている方など、興味があればネットボール部までお越しください。ネットボール部には限りません。是非、部活を通じて充実した大学生活を送ってみてください。

4年間の可能性

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

小野 拓海

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

僕は入学してから4年目になりますが、1年次に行った富浦でのオリエンテーションや遠泳実習、乗船実習で室蘭や舞鶴・神戸に降り立ったのが昨日のように思えます。おそらく新型コロナウイルス感染拡大防止処置として2年次および3年次の授業の多くがオンラインにて実施されたことにより、その記憶および印象があまりない

のも原因の一つとして考えられますが、やはり大学生活は「4年間」という文字から受け取る感覚よりも早く過ぎ去るのが一般的なのでしょう。

さて、そんな4年間について僕が特に意識して行った行動を新入生の皆様にお伝えしたいと思います。それは「とりあえずやってみる」ことです。おそらく4年間のなかで気の進まないものに対して取り組まなくてはいけない場面があると思います。また、何かを犠牲にしても打ち込みたいものが見つかるかもしれません。それら全ては自分の可能性を広げるので、全てに対して「とりあえずやってみる」ことが大切です。

例えば、私は船舶に対する興味がそれほどありませんでした。よって、乗船実習のモチベーションもそれほど高くありませんでしたが、「とりあえずやってみよう」との思いのもと、実習中において積極的に船舶機器に触れ、そして知識を深めていきました。その結果、実習前と比較して船舶に対する興味が明らかに増しました。

人生100年といわれる昨今、大学を卒業してからのおよそ80年間の可能性を広げるのは大学生という4年間が最後のチャンスかもしれません。思う存分「とりあえずやってみる」という精神のもと行動して可能性を広げると良いと感じます。



1年次船舶実習で乗船した日本丸
室蘭港にて

『在学生から新入生へ』

海洋工学部 流通情報工学科4年

陳 毅 斌

新入生の皆様こんにちは。私は流通情報工学科4年の陳と言います。入学してからはや4年目に突入した私から新入生に伝えたいことは、大学生活の楽しみ方についてです。皆さんは大学が専門学校や職業訓練学校と異なる点はどこにあると思いますか？私は短絡的な目先の知識の習得だけに囚われず、様々なことについて学べる“文化力の差”にあると思います。自動車学校では運転のためだけの知識を学びますが、海洋大はそうではありません。シラバスには総合科目・基礎科目・専門科目と、専門知識以外にも様々な教養のための科目が取り揃えてあります。つまり、流通に関する科目以外にも外国語や哲学、社会学、契約法といった教養科目が色々ある分、世の中に対する知的好奇心を満たすための機会が数多く与えられているというわけです。これを生かし、日々様々な分野についての新しい知見を得ることこそが、大学生活の楽しみ方ではないでしょうか。勿論、専門外の科目の場合触れられるのは入口の僅かな部分でしかありませんが、意外とそういった科目ほど大事な要素を目一杯限られた時間内に話さなければならぬので、毎回講義内容が密度高くて面白かったりします。単位やGPAも勿論大事ですが、目先の数字に捕らわれることなく純粋に様々な知識に触れ、そこから何か着想を得たり、単純に納得したりしなかったり、考え込んだり悩んだり、果ては忘れてたりすることを楽しめるような文化色のある学生生活を皆様がこれから送れることを願ってやみません。追伸、サークルはテニス部と海事普及会、研究室は中川研究室が楽しいです！

幅広い視野を

海洋資源環境学部 海洋環境科学科3年

佐 治 圭 輔

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。1年生の間は時間割の多くが一般教養科目で埋まっており、まだ専門科目を履修できていないことだと思います。そのような、専門科目の履修がまだ始まっていない皆さんに私からお伝えしたいことがあります。それは、専門科目の履修が始まったらできるだけ多くの科目を履修し

てほしいということです。私がこのように思う理由は2つあります。

1つ目は、より多くの選択肢の中から自分が本当に学びたい分野を見つけることができるからです。実際に私は海洋環境問題という漠然としたものに興味があって海洋大に入学しましたが、様々な専門科目を履修したことでバイオレメディエーション（生物の力を用いて環境修復を行う技術）という自分が学びたい分野を見つけることができました。

2つ目は、特定の分野をより深く理解することができるからです。例えば魚類についてより深く勉強したいと思ったとき、藻類の知識をもっているかもっていないかでは大きな違いがあります。なぜなら魚類は生態系内で藻類と密接に関係しているからです。藻類が魚類の餌であることや藻類の大繁殖が魚類に影響を与えることを考えれば、魚類と藻類が密接に関係していることがよくわかると思います。このように海の学問はそれぞれつながっており、それを広く学ぶことは特定の分野を深める上で大きなアドバンテージとなるのです。

最後になりますが、海の学問にはおもしろいものがたくさんあります。その中から自分に合った分野を見つけ出し大学生活を充実したものにしてください。

「海洋大生になるために」

海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科4年

富 永 果 枝

三年前、白鷹館で行われた新入生歓迎会。初々しい気持ちで校門をくぐったはいいものの、なぜ今私はここにいるのかを思いを巡らせていた。海が好きなのでもない、船に詳しいわけでもない、「好きな魚は？」との質問にただ言葉を詰まらせるばかり…。どうしよう、とんでもない大学に入ってしまったかもしれない。そんなことを考えていた私から新入生の皆さんに、海洋大生になるためのちょっとしたコツを二つ、伝授したいと思う。

一つは実習に積極的に参加してみることである。海洋大には他では体験できない魅力的な実習が多数存在する。かけた時間と手間のわりに単位数が少ない実習だが、億劫にならずに参加してみしてほしい。そこで得た知識や経験には、期待以上の価値があるはずである。つらい実習を乗り越え、できた仲間とする思い出話は、最高に面白い。

もう一つはキャンパス内を散歩してみることである。

特に新生は講義棟と白鷹館の往復になりがちだ。改めて見ると、海洋大は都会のど真ん中に位置しているとは思えないほどに緑が多い。自然に癒されるもよし、屋外に置かれた水槽を観察するもよし、はたまた静かなマリンサイエンスミュージアムを見学するもよし。もしかすると、何か新たな発見があるかもしれない。

結局私は、釣竿を背負いながらギョサンでキャンパスを闊歩する海洋大生にはなれなかった。しかし、海洋大での学びは確実に私を海洋大生「っぽく」させた。海洋大生でいられる貴重な日々を大切に、有意義に過ごしてみてほしい。



3年次に参加した乗船実習Ⅱでの様子（筆者は中央）。

「継続は力なり」

大学院海洋科学技術研究科 海洋資源環境学専攻1年
船田悠平

現在、私は大学院博士前期過程1年であり、海洋大学での生活は5年目になります。5年間で色々な人と出会い、交流してきました。一緒に水族館や博物館に行ったり、生物を採集しに行ったりする友人には困らない大学だと感じていますが、ここではもう少し大事なことをお話ししたいと思います。

新生生の皆さんには、「海洋大学の学生は、何かを学ぼうなどの目標を持った人が多い」ということを強くお伝えしたいです。

皆さんはどんな目標をもって入学してきましたか？

私は、「より多くのサメに出会ってやる」という目標を掲げ、入学しました。これを読んでいる方々の中には、まだ目標が定まらない方もいるかと思います。そんな方は、出会った友人や先輩などを見てみてください。きっと何かに向かって、楽しみながら真っ直ぐ努力している

人が多くいると思います。そして、そんな人たちを見て、触発されてください。やる気をもらってください。そうすれば、熱中できる何かを見つけ、目標を定められると思います。別に、生物に詳しくならなくてもいいと思います。ある時は1人で、またある時は友人や先輩、後輩と一緒にそれに打ち込んでみてください。

私は、大学へ入学し自分より魚や生物に詳しい人が多くいて、刺激を沢山もらいました。そして、気づけば魚以外の生物にも興味を持つ自分がいました。

その熱中できる何かをしながら大学生活を過ごし、卒業する時に振り返ればいろいろなものが得られていると思います。その経験が大きな力になるのではないのでしょうか。



潜水を楽しむ筆者

新生生の皆様へ

品川キャンパス自治委員会委員長
海洋生命科学部 海洋生物資源学科3年

原亮介

新生生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆様のご入学から数ヶ月が経ちましたが、大学生活には慣れましたか？「これからどうすればいいかわからない」とお困りの方もいらっしゃるでしょう。僭越ながらアドバイスさせていただきます。

まず、学びの幅を広げましょう！海洋大のような専門的な大学では、どうしても海洋関係の授業が多く、知識が偏ってしまいます。もちろん、学校の科目で哲学や歴史を学ぶこともできますが、それだけでなく、自分の好きな分野・趣味についても、貪欲に学んでいきましょう。自分の好きな分野から、隣接する分野へアメーバのように興味を広げていくのもいいです。このように学んだこ

とが、意外なところで海洋と結びついたり、アイデアの種になったりすることもあるので、「今の自分の夢と関係ないから」とか考えずに、気軽に楽しく学んでいきましょう！

次に、機会を生かしましょう！このコロナ禍でやりたい事が思うようにできなかった方も多いと思います。だからこそ、大学生の時間がある時に、やりたいことをやっちゃいましょう！機会は掲示板・Live Campusからの連絡・サークル活動等、意外に近くにあるものです。ちょっとでもときめくものが見つかったら、「時間がないから」「自信がないから」と放置せずに調べてみましょう。きっと皆様の人生の糧になるはずです。

大学生の時間はあっという間に過ぎてしまいます。どうか悔いのない学校生活を送ってください。

1年生のうちから心がけること

海鷹祭実行委員会委員長
海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科3年

重村 篤希

新入生の皆さん、こんにちは。海鷹祭実行委員会委員長の重村篤希です。ご入学おめでとうございます。この2年間、新型コロナウイルスの影響を強く受けていましたが、今年はそこまで影響を受けずにおおむね平常な大学生活を送れるようになるかと思っています。とはいえいろんな意味で緊張感が漂う情勢ですが、せっかく新たなステージに上がったのです。この状況をこの先の人生で語り継げるような立派なナラティブを作れば良いのではないのでしょうか？皆さんがこの先4年間で紡いだものがきっと良いものになれるように切に願います。

こんな偉そうなことを言っておきながらアドバイスの1つや2つ言わないのかよって僕なら思うので1点だけ気を付けてほしいことを伝えます。それは自分のことは自分で把握することです。大学に入ると高校や予備校以上に自分一人で管理しなければならないことが増えます。また、その面倒を見てくれる人が四六時中対応できるわけではありません。課題やレポート、奨学金の書類など一つのミスや遅延が致命的になるようなものが急増します。そのため例えば、余裕を持ったスケジュールはととても大切です。しかしどんなに万全な体制を築いたと思っても不安になるようなこともあるでしょう。そういう時は遠慮なく上級生や同級生、先生たちに聞いてください。聞くこと尋ねることは恥ず

かしいことではありません。ということがどのように不安なのか、「問題と要因」を見つけることが自分のことを自分で把握することにつながります。つまり自分を高める行為の一つなのです。最初は難しいことかもしれませんが役に立つこと間違いのないと思います。

新入生の皆さんへ

海洋工学部学生会事務局長
海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

阿部 頌

新入生の皆さん。初めまして。海洋工学部学生会事務局長の阿部頌です。この度はご入学おめでとうございます。上級生の代表の一人として皆様のご入学を心から歓迎申し上げます。唐突ですが私は皆さんに一つ問いたいことがあります。「今、目標はありますか？」。大学受験をする際に大学入学はゴールではなくスタートだと言われた事があるのではないのでしょうか。しかし、日本の大学入試の制度では入学する事に重きを置いてしまう傾向にあるのが事実です。今、現在、目標を何となく漠然と持っているという方も少なくはないかと思います。一方で皆さんの周りには明確な目標をもって大学に入学してきている一年生も大勢います。それはこの大学だけではなく他の大学でも同じです。そんな目標に向かってひた向きに努力する人達には熱意も、知識もそして実力も及ばない場面が沢山出てくると思います。しかし私は目標を持つことが必ずしも大切な事ではないと思います。それよりも大切な事は「楽しむ」ことです。楽しむというのは単に友達と遊ぶ事だけではありません。この大学は普通より多くの実習があります。部活動でしんどい練習を経験するかもしれません。そういった実習やあまりしたく無い少し辛い事を嫌々ながらではなく楽しむ事こそ最も大切な事なのです。色々な事に興味をもって、知らなかった事を知っていく内にいつの間にかそんな強固な目標を持った人たちと同じ景色が見えてきます。世の中は見方を変えるだけで楽しめる事が沢山あります。是非、皆さんは授業だけではなく部活動もそういった学びの場としてたくさん取り組み、どんな困難でも笑って楽しみながら乗り越えていってください。コロナウイルスの脅威の見通しが依然分からない不安な状況が続きますが、皆さんが投げやりにならずに前向きに大学生活を送れることを心から祈っています。

2022年 出会い

入学特集

先輩留学生から
新入生のみなさんへ

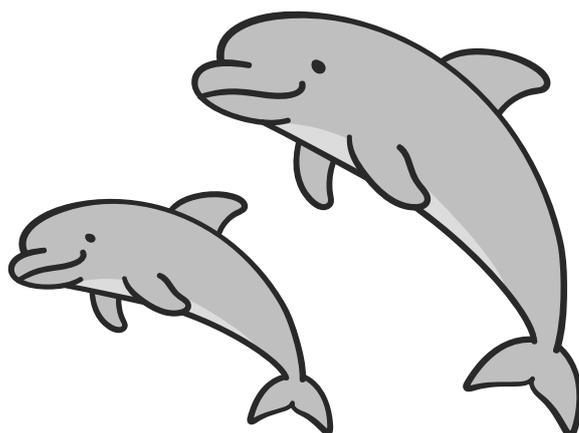
留学生の皆さん

大学院海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻3年

王 柳

まずは皆さんの入学を心から歓迎いたします。今、皆さんは目標に向かって意欲的でありつつ、同時に迷いも抱いているでしょう。どんな姿であっても、春に芽吹く初々しい芽のように強く成長し、未来への無限の可能性を持つダイヤモンドのような存在なのです。作家の陶杰は「年をとってから自分の人生を振り返ってみると、留学したとき、初めて仕事をしようと思ったとき、パートナーを選んで恋愛をしたとき、結婚したとき、そのすべてが大きな運命の変化だったことに気づくだろう。ただ、あなたが選択をした日は、当時は人生の中の平凡な一日だと思われていたのです。」と述べています。

もともと大学卒業後はそのまま企業に勤めようと考えていた私ですが、当時の恩師からいただいた「早く身を固めようと焦らず、自分の好きなことをさらに勉強すると、より刺激的な人生になるかもしれない」という言葉を胸に進学を決意しました。実際に、先生の助言を受け進んだ研究の世界はとても魅力的でした。さらに大きな刺激を求め日本への留学を決意し、最終的に海洋生物の研究で有名な本学に進学しました。現在は魚病ワクチンの研究に励んでいます。自身の研究テーマについて考察を重ねるたびに好奇心が湧き、世界中の留学生と交流を図るなかで人々の温かさを感じることができ、日々幸せな研究生活を送っています。皆さんにもぜひ、この幸せを共有していただきたいです。将来、今日の選択をしてよかったと思えるように、より豊かで有意義な人生を築けるように努力しましょう。



学科の特色ある実習の紹介



船用ディーゼル機関実験実習装置 を使用した実験・実習

海洋電子機械工学部門 准教授

佐々木 秀次

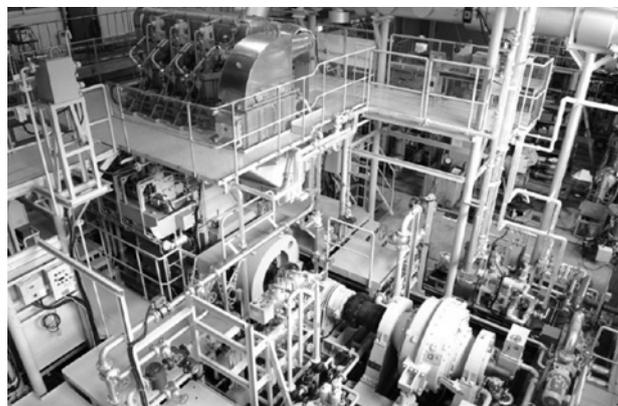
海洋工学部では船用ディーゼル機関実験実習装置を導入し、海洋電子機械工学科の実験や実習の一部を行っております。ここでは、電子機械工学実験（内燃機関工学実験）と機関実務実習（機関運転総合実習）に関して紹介します。

この船用ディーゼル機関実験実習装置は、大型船舶の推進用機関（主機関）として多く用いられている船用2ストローク低速ディーゼル機関を運転台（テストベンチ）に設置したもので、ディーゼル機関と補機器類（ポンプや熱交換器等）で構成されています。機関は負荷装置（水制動力計）と接続されており、実際の船舶が運航している場合と同様の負荷をかけた状態で運転することが可能です。

電子機械工学実験は海洋電子機械工学科の3年生を対象に、制御および機関システムを構成する電気、電子、制御、情報、エネルギー、機械分野の基礎的事項を実験によって理解を深めるための実験授業です。この実験の1項目として内燃機関工学実験が行われます。実験では船用ディーゼル機関実験実習装置を実際に運転して、船用ディーゼル機関におけるエネルギーフロー（エネルギーの使われ方）や、燃焼状態の解析（筒内圧計測と分析）等を学びます。特に燃焼状態の解析を行うことは、船舶職員や内燃機関を扱う職種では最も重要な要素の一つであり、実機を使用した実験によって理解を深めます。

機関実務実習では、海洋電子機械工学科の4年生で海技士を目指す学生が、3年次までの講義や実験・実習で学んだ基礎的事項を発展・応用してより実務的事項を学ぶとともに、救命訓練や消火訓練をとおして船

舶職員として必要な能力を身につけます。この実習の1項目として機関運転総合実習を船用ディーゼル機関実験実習装置によって行います。実習では機関を構成する部品を実際に整備や調整を行うとともに、組立て取付け後に、機関プラントの立上げ、機関の始動、機械式インジケータを用いた燃焼状態の解析を、学生が自ら行い実務的な内容を学びます。



船用ディーゼル機関実験実習装置
(3UEC33LSII-Eco)



船用ディーゼル機関実験実習装置
(コントロールルーム)

海洋学実習Ⅰ・Ⅱ

海洋環境科学部門 准教授
溝端浩平

海洋学は、ありのままの海洋を研究する基礎科学です。海洋は、海水の動きや熱の収支などの物理的過程、物質の分布、輸送と変化などの化学的過程、生物群集の動態や代謝についての生物的過程が相互に密接に関連しあって成り立っている大きなシステムです。海洋変動と気候変動、環境変動には複雑な相互作用があります。また、沿岸海域の水質汚濁や生態系の変化など、地域的な環境問題に対しても、海洋システムの挙動が密接に関係しています。ありのままの海洋を捉えるためには、正確な海洋データの取得が必要であり、海洋観測、海水の分析は海洋学に必要な不可欠です。

本実習では、練習船「汐路丸」に5日間乗船します。海洋観測技術、分析方法、データ解析方法を習得するとともに、船内生活および安全確保に必要な知識を体得することを目的としています。水温・塩分・流速観測、プランクトン採取、栄養塩などの海水分析など、多岐に渡る観測項目を沿岸から外洋に及ぶ海域で実施し、「海洋学」の魅力を知ることができます。

2年生を対象とした実習Ⅰでは、海洋学における現場観測の基礎を学びつつ、東京湾・相模湾から黒潮流域にかけて観測を実施します。外洋水と河川水の交錯する東京湾・相模湾から世界最大の海流の1つである黒潮に至る海洋環境を知ることができます。3年生を

対象とした実習Ⅱでは、観測戦略や実際の研究観測を学びつつ、黒潮を縦断する観測を実施します。黒潮を境にした「海」の違いが見えてくるでしょう。



海洋観測に用いる CTD システム（電気伝導度・水温・圧力等を計測するセンサーと採水器）について説明を受ける学生



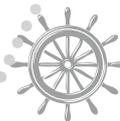
学生教室で観測データを解析する様子



練習船「汐路丸IV世」



実習感想記



実習感想記

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

児玉侑也

新入生、在校生の皆様こんにちは。このようなコロナ禍で書くのもなんですが、実習といえば泊まり込みが一番楽しいです。そのなかでも、私は「養殖育種学実習Ⅱ」での体験をお教えしたいと思います。

「養殖育種学実習Ⅱ」は今年に入ってほぼ初めて行われた泊まり込みの実習で、6人という少人数のもと行われました。そこで、池の水質調査やコイとニホンナマズの産卵、養鰻場の見学などここでしかできない貴重な体験を様々させていただきました。また、実習の終わりには発表会があり、この発表に向けてみんなで協力して実験を行い、分からないこと聞き合うことで同期生とのつながりも感じる事が出来ます。経験と友情をいっぺんに手に入れることが出来るのが泊まり込み実習のいいところで、私も久しぶりに東京海洋大学に入ってよかったと心から思えました。

このコロナ禍で皆様がどれほど実習というものを体験できているのかわかりませんが、直に魚に触れたり、



ナマズにホルモン投与する筆者

本来では行けないような場所を見学ができたりするのはまさしく東京海洋大学の特権と言えます。今後のことは分かりませんが、実習が醍醐味のような大学なので「行けるやつは行っとく」といった精神も大事ではないでしょうか。そして、例えば実習が通常どおり行われずとも、腐らず頑張っていれば研究室選びや研究室に入った時にきっと役に立ちます。

それでは皆様体調に気を付けて、実りある大学生活が送れることを祈っています。

実習感想記

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

田所真穂果

食品生産科学科では、1年生と3年生の夏に2泊3日の実習を行います。

1年生の夏は、山梨県にある大泉ステーションで、ニジマスのつかみ取りと解剖、ニジマスの燻製作りを行います。大学入学後、授業で実際の魚を扱うのはこの実習が初めてだったのでとても楽しかったです。夜ご飯でバーベキューをしたり、トランプで遊んだりする時間もあるため、先生や生徒同士の親交が深まり、夏の良い思い出になったと感じています。

3年生の夏は、静岡県吉田ステーションで、ツナ缶とレトルトカレーの製造を行います。ツナ缶製造ではキハダマグロの解体作業から行うことができるため、貴重な経験となります。吉田ステーションには実際の食品工場のような施設があるため、実践的な経験ができます。

私達の代はコロナウイルスの影響で3年生の実習が実施できず、品川キャンパスで代替りの授業を行いました。具体的には、6人の班に分かれてレトルトカレーの新商品を企画発表するというものです。企業がどのように新商品開発を行うのかを講義で学んだうえで、商品コンセプト、価格、パッケージデザイン、販売方法、などを考え、食品学科の先生と生徒の前で発表しました。例

年通りの実習が出来なかったことは残念でしたが、食品メーカーの商品開発を体験する良い機会になったと感じています。

食品生産科学科では、実習や実験を通して食品メーカーなどの実際の現場に近い経験をたくさんすることができます。



写真は1年の実習で作ったニジマスの燻製です

実習感想記

海洋生命科学部 海洋政策文化学科3年

渡部 礼音

海洋政策文化学科では、2年次に「水産調査」という実習があります。昨年度はコロナ禍のため、神奈川県小田原市での日帰りでの実施でした。実習は、文献や統計資料を調べテーマ設定や調査票作成を行う事前学習、現地へ赴き漁業・水産業界関係者へヒアリングを行う現地調査、報告書を作成する事後学習から成ります。私のグループは、沿岸自営漁業の担い手不足の問題をテーマに、刺網漁業を営む漁業者の方からヒアリングを行いました。

実習では、実際に現場に出て学ぶことの大切さを痛感しました。現場に出ることで見えてくるものは多いです。例えば漁業の新規参入の障壁について、先行研究では資金や技術などが挙げられていますが、調査ではその前に漁業権をはじめとする制度が障壁となり得ることが分かりました。調査により、担い手の問題に対する考察が非常に深まりました。

また、単に現場に行くのではなく、問題意識を明確にしてから訪問することの重要性を強く感じました。ただ

漠然と現地に向かっていたら「漁師さんって大変だな」で終わっていたであろう漁業者の方のお話も、事前学習を丁寧に行ったことで明確な問題意識の下で論点を整理しながら伺うことができました。事前学習で取り組んだ先行研究をまとめる作業も、卒論に向けて学びが非常に多かったです。

コロナ禍で、2年次の冬にして初めての学外実習となったため、大学から近い神奈川県での調査とはいえ、大変刺激になりました。一方で、今回目にしたのは都市近郊漁業という日本の漁業の中の特殊なごく一部であり、実習を通じて、日本の漁業の大部分を占める地方の漁業・水産業の実態や課題についてもより興味がわきました。コロナ禍が収束したら、是非地方の漁村にも訪れたいです。



筆者：写真1番左

実習感想記

海洋工学部 海事システム工学科4年

五間岩 里樹

学部1年から3年の間に、数多くの実習が行われ、そのすべてに参加してきました。経験した数ある実習の中でもとくに印象に残っているものは、1年生の時に行われた遠泳実習と乗船実習です。遠泳実習では、千葉県の内房にある富浦で決められた距離を泳ぎ切るということを目指して水泳の実習が行われました。事前に行われたプールでの実習とは大きく異なり、波や風の影響で予想以上に体力が消耗してしまいました。一方、実習はきつかったですが、同級生たちと寝食を共にし、一緒に生活できたことは、非常に楽しい思い出として残っています。遠泳実習は乗船実習の予行演習も兼ねていたため、乗船実習での集団生活に慣れるのにも役立ちました。

遠泳実習の直後に始まった乗船実習は、実習船に乗り込み、東京港から北海道まで北上して、また来た航路を戻るといったのが当初の計画でした。ところが、台風を

避けるために、結果として本州を一周するという航程になってしまいました。実習船への乗船自体初めての経験だったこともあり、実習全体の記憶は鮮明です。とくに、レインボー・ブリッジの下を実習船が通る時に、今から実習が始まるぞというワクワク感がありました。まだ1年生だったので、船を操船するというには、まだ具体的なイメージがありませんでした。しかし、実習中に、船橋と機関部とのチームワークが重要であるということを理解することができました。船橋での作業は多岐にわたり、難しいと感じた反面、大自然を相手にしながら目的地まで突き進むことに強いやりがいを感じました。生まれて初めての实習航海を経験する中で、美しい景色と同時に台風や波などの海の恐ろしさも味わうことができました。海で生きる者にとっての実習の重要性を実感した経験でした。

実習感想記

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

丸山 祐亮

海洋電子機械工学科の必修科目には船舶実習という実習科目があります。2年生まで毎年1ヶ月間ずつ、合計2ヶ月の間練習船に乗船し実習を行います。この実習は、船舶職員(機関士)を目指している人もそうでない人も参加が必須となっています。その後、機関士を目指す学生は、機関システム工学コースに所属し、引き続き3年生で1ヶ月、4年生で3ヶ月間の乗船実習があります。

1年次の実習では、機関士および航海士に関する基本的なこと、2年次の実習では機関士に関する専門的なことについて、実習を通じて理解を深めます。この実習では航海中の機関室に入って各種配管の調査や機関システムが正常に作動しているかを常時監視する当直業務など、さらに船橋では航海当直や機器の操作、操舵を実際に行います。私は当初、船舶の知識をほとんど持っていなかったのですが、この実習で先生方から様々な話をお聞きし、そして実際の機器に触れ体験することで少しずつ船舶に関する知識を身につけることができましたと思います。

1ヶ月間の実習ということは、そのほとんどを船内で生活するという事です。船に乗る前は、いろいろ心配になっていたのですが、実際に船に乗って生活しているうちに私を含め実習生のほとんどがその生活にすっかり慣れて自由時間なども活用して有意義に楽しく過ごしました。特に船内の食事はとても美味しくたくさん出てくるので毎日の食事が楽しみでした。また、乗船中は

接岸時を除き携帯電話が概ね圏外のため繋がりませんでした。よって通知などが一切こないスマートフォンにしばらく違和感を覚えていました。

このように毎日が充実しており、実習中の1ヶ月間はあっという間に過ぎていました。私は陸上職を希望していることから制御システム工学コースに進んだので2年生でこの実習も終わってしまいましたが、合計2ヶ月の間練習船に乗るといふ貴重な経験ができてとても感謝しています。



日の入りを青雲丸甲板から望む

実習感想記

海洋工学部 流通情報工学科4年

濱田 篤志

昨年の四月初旬、3年生になった私は、汐路丸実習に心を躍らせていました。4年間の大学生活で数少ない乗船実習は、流通情報工学科の自分にとってまたとない機会だったのです。しかし、某ウイルスに気を許さない時期でもあり、密室である船内で長時間過ごすことが難しく、例年通り3日間の実習を行うことができませんでした。感染対策として、学内で学科講習を受け、最終日に実習するという流れとなりました。一日のみの体験でしたが、船内を見て回った感想を簡単に述べようと思います。

デッキから外を眺めると、東京、千葉沖を航行しているのがわかりました。東京港臨海道路の下を抜ける辺りからは、大小さまざまな船舶の往来が多く見られ壮観でした。投錨、抜錨等の船員の方々による作業では怒号が飛び交う本物の船乗りの姿を目の当たりにし、圧倒されました。ブリッジで実際に舵を取る体験では、進行方向の修正が難しく、数百トンの船体のものとは思えない舵の軽さに皆緊張していました。機関室は、巨大なエンジ

ンの駆動音が耳に響き、足場の下も機器が広がる危険と隣り合わせの空間なので、このような場で働く機関士の方々は、よほどの精神力がないと務まらないはずです。

私が乗船した汐路丸や青鷹丸に代わり、今年度からは汐路丸4世が本学の練習船の一つとして就役しています。当船舶は、「シップ・オブ・ザ・イヤー2021」に漁船・調査船部門賞を受賞しました。そんな名誉ある船に乗れる後輩のみんなが羨ましいです。

最後に、本実習は必修科目かつ時間厳守ですので、遅れると「また来年」となってしまいます。そうなることがないように当日は気をつけましょうね！

実習・実験感想記

海洋資源環境学部 海洋環境科学科3年

尾形 凜

海洋環境科学科3年の尾形凜と申します。私たちの学年はちょうどコロナウイルスが流行りだした年に入学しました。このためコロナウイルスの影響で1年次のフレッシュマンセミナーで乗船の経験を、2年次の海洋学実習Ⅰでもまた乗船の経験をする事ができませんでした。つまり、1, 2年次は実習がすべてオンライン上で行われたということです。この上、生物学実験もオンラインで開講されたため、いわゆる現場での体験のようなものをほとんど行えない2年間を過ごしました。おそらく、このような経験をする学年はかなり数奇であるでしょう。現在の1, 2年生はコロナウイルスの対処が確立しつつある中で入学した方々ですので、我々のような思いをすることもないと思います。だからといってどうということはありませんが、1, 2年生の皆さんは積極的に実習や実験に参加し、仲間との経験や現場での体験、いわゆるFirst-hand experienceを味わってほし



アジの鱗条の観察

いものです。

さて、そういうわけで、実習の経験はいまだないので、実験についていくつか伝えることができればなと思います。生物学実験はオンラインで開講され、藻類からクロロフィルを抽出する実験やアジの解剖、鯨類の椎骨をスケッチなどを勉強しました。これらはオンラインでしたが、仲間たちと協力して実験したのが記憶に新しいです。特にクロロフィルの抽出にはかなり苦戦しました。

コロナウイルスの影響でもう3年生かという感じがですが、今後の実験・実習も大切にしていけたらなと思います。

実習感想記

海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科4年

松本 幸果

私は昨年度、海洋資源エネルギー実習Ⅱを受講しました。この実習は、例年では数日間船に乗り伊豆沖の海底火山周辺の地形観測を行うもので、私がとても楽しみにしていた実習の一つでした。しかし、昨年はコロナウイルス感染対策のために規模が縮小され、停泊している船内での日帰り見学と事前学習といった形になってしまいました。

見学は本学の練習船である神鷹丸で行い、主にMBES (multi beam echo sounder) を用いた海底地形探査システムと、マルチプルコアラ等の器具を用いた海底質の採泥方法について学びました。どちらも海底の地形や地質について調査するための手法で、実際に動いている所を見たり、仕組みを解説して頂いたりすることで、事前学習で得た知識をさらに深めることが出来たと思います。

また、神鷹丸には1年次のフレッシュマンセミナーで乗船したことがあり、今回の見学は久しぶりの乗船でした。この実習など、今まで多くの授業で船の仕組みや機能について学んで来たため、入学したての頃には知らなかった沢山の機能がこの船には搭載されているのだなと見学を通して実感し、己の成長も感じる事が出来ました。

有意義な実習でしたが、やはり実際に船の上でデータを取る実践の機会が無かったことが悔やまれます。私のように、実習を楽しみに入学された方も多いと思いますので、今後の実習が出来るだけ例年通りに実施出来るよう願っています。

資格取得に向けて



国家公務員総合職(教養区分)合格に向けて

海洋生命科学部 海洋政策文化学科4年

丸田 裕太

私は海外に旅行した際の経験を通じて「明日、食べる食べ物がない」などの不安を抱える必要がない生活は当たり前ではないと感じ、「この日常を守りたい」という想いを抱きました。同時に、国際社会では多軸化・分断化が進み、日本でも地政学リスクが高まっている中、経済や軍事そして食料面での安全保障の重要性は更に高まっていくと考えています。そのような状況下で、法令や税制、予算などの「国家を動かしていくためのツール」を用い、国民が安心して生活し続けていく社会を作り上げる事ができると考えたので、国家公務員を志望しました。

試験対策は、独学で進めました。具体的には一次試験の「基礎能力試験」は実務教育出版の「新スーパー過去問ゼミ」を一通り正解できるように勉強しました。結果、合格ライン62%のところを私は86%取って合格できたのが、最終合格の決め手になりました。二次試験は「総合論文試験」、「企画提案試験」、「政策課題討議試験」、「人事院面接」で、特に対策したのは「企画提案試験」です。この科目は課題資料をもとに、自分なりに政策を作成し、その後面接官2人に発表して、質疑応答をする試験でした。事前準備として本学科の森下丈二教授に政策立案に対する考え方などを指導して頂き、同時に課題に関連する

白書を読み自分なりの考えをまとめました。

私は6月22日から官庁訪問に参加します。官庁訪問では、私自身の想いや考えなどを伝えられるように努めたいと考えております。私の体験が少しでもご参考になれば幸いです。



小型船舶免許一級取得

海洋工学部 流通情報工学科3年

古賀 マリア

まず、小型船舶免許取得のきっかけについてお話します。私は他学科の学生が多い女子カッター部に所属していますが、船舶に関して分からない単語や知識が多くありました。他学科の学生なら慣れていることも、私にとっては初めての経験でした。また、アルバイト中にお客様から海のことについて聞かれることが多いのですが、答えられないことがありました。そこで船舶の資格取得に挑戦することにしました。資格取得に要する費用は、バイト代から出すことのできる金額でしたし、取得に要する日数も自動車免許に比べて非常に少なかったため、迷わず申し込みをしました。ただ、講習の日数が少ない分、試験に向けて自主的に勉強する必要があるがあったので、スケジュール管理は非常に重要だと感じました。内容自体は特別難しいものではないので、スケジュール管理さえしっかりできれば、皆さんなら合格は間違いありません。最後に、取得して一番良かった点を挙げると、海での交通方法やロープワークなど、今回免許取得に挑戦しなければ一生知ることのない知識と経験を得られたことです。当初は部活動で必要な知識だから、仕事で会話に困るからといった必要性に駆られて取得を考えていましたが、それ以上にたくさんのメリットがありました。皆さんもぜひ長期休みなどを使って、比較的時間に余裕のある学生うちに興味のある資格取得に挑戦してみたいはいかがでしょうか。



講習で実際に使ったテキストや三角定規、ロープ

大学での学び方

大学院で学べること



海洋管理政策学専攻(博士前期課程)

大学院海洋科学技術研究科 海洋管理政策学専攻2年

若森大悟

大学院で学べることはなんでしょう。正直に申し上げると24年間を生きてきて、大学院に通う私もわかってないです。ただ一つ確かなのは、どの教育・学問組織よりも「自由」だということではないでしょうか

大学院で学べることを語る前に大学と大学院の違いを整理します。まず大学とは、教育課程における最高学府であり、大学院はさらに学問を突き詰めて研究する人が集まる場所です。取得できる学位も違って、大学では「学士」を、大学院からは「修士」「博士」を取得できます。各学位の違いから言うと、大学は「学問を学ぶ人」に送られる称号で、大学院は「学問を修めた人」や「博学・博識の人」に学位が贈られます。つまるところ、大学院では“学ぶ”ことが主役ではないのです。

大学までの教育機関には、学ぶ上で決められた“ルール”があると思います。例えば、義務教育では、文科省が学習指導要領を指定しており、学ぶ内容を選べません。全員が同じことを学ぶでしょう。高等学校に入ってから、初めて好きなことを学べますが、好きなアプローチで学ぶことはできません。そして学部もこの延長上にあります。

話しがずれてきたので戻しますと、大学院では好きなことを好きな形で学べる場所です。学び方に正解もなければ間違いもない場所です。例えば私が所属する「沿岸域資源論研究室」であれば、現地調査を行うことで一次情報を集め、漁獲関連情報と対比することで課題を浮き彫りにします。そして見えてきた課題を自分の視点で分析して・・・自分なりの結論を出すというプロセスを繰り返すことになるでしょう。この研究手法はあくまで一例で研究室や分野で大きく違います。同じ情報源があっても違う研究室だったらまったく違う結論にたどり着くかもしれません。そのバラエティーが大学院の醍醐味だと感じています。まずは自分の好きなことを見つけ、とことんまで学び、研究分野を修めましょう。そし

て後の世代の“学び”を増やしていくことが大学院でできることだと思います。

応用生命科学専攻(博士後期課程)

大学院海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻2年

天野雄一

私自身もまだ大学院に在籍して4年目であるため、まだ大学院という機構を正確には理解できていませんが、これまでの大学院生活の所感から得られた学びを3つ記したいと思います。

まず、大学院で学べることの筆頭はやはり研究の遂行方法です。実は、私は大学院入学前の学部3年生の時に論文を投稿しており、リジェクトされた経験があります。今から考えればそうなるのは当然の出来ではあったのですが、当時は大きくショックを受けたのを覚えています。その経験があって、大学院では個人的な持ち込みテーマではなく、研究の遂行方法を0から指導してもらえる研究室を選択しました。結果的にその選択は正しく、指導教員の先生や先輩から適切な研究の進め方を学ばせてもらうことができました。やはり、科学研究には論理に基づいた適切な理論や仮説の展開、それを証明する実験の順序があり、それを疎かにすれば研究は成立しなくなります。月並みですが、この「研究の正しい進め方」こそが、大学院における最大の学びであり、大学院に進学する意義だと思います。

二つ目に、大学院生活で得ることができた重要な学び



研究生活の相棒である魚たち

は、物事を適切に説明する能力についてです。大学院で行う研究は得てして細を穿ち、強い専門性を帯びた内容になりますが、修論発表会や学会発表、研究予算申請の際には、自分の研究を専門外のひとにも理解してもらわなければなりません。そのためには、専門用語の使い方や適切な図の作製、ひいては話し方に至るまで、聴衆に寄り添った工夫を凝らす必要があります。さらに、それをものにするためには、多くの練習を重ねることが必須です。習得するまでには大きな苦勞がありますし、私も未だに完全にマスターしたとはいえません。しかし、この能力は研究の説明にとどまらず、物事を他人に説明するときには常に応用することができますし、人生の様々な場面で役立つと確信しています。

最後に、大学院で私が学んだものとして紹介すべきことはコミュニケーションの重要性です。研究生活ではとかく軽視されがちなことですが、実は円滑に研究を遂行していくために最も重要な要素と言っても過言ではありません。大学院における生活の場である研究室は組織であり、様々な立場、年齢、国籍のひとが入り乱れて仕事をしています。このような場で物事を進めていくためには、きめ細やかなコミュニケーションと相手を思いやる気持ちが何より重要です。研究室という組織は社会から隔絶された空間というような一般的な印象があるかもしれませんが、それは大きな間違いです。組織である以上、そこに所属する人々が気持ちよく暮らしていくためには、社会人としての良識ある振る舞いが必要不可欠です。それは会社に所属することと何ら違いはありません。このことは”大学院でのみ”学べることではないのかもしれませんが、学生と社会人の狭間である大学院生という立場が、これを学べる最後のタイミングであるともいえます。残る幾年の大学院生活、そして続く今後の人生でも、コミュニケーションの重要性を肝に銘じて研究生活を送っていきたいと思います。

食機能保全科学専攻

食品生産科学部門 教授

萩原 知 明

学校教育法によれば、大学院は、「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。」(学校教育法第99条第1項)と定められ、学部課程の上に設置されています。皆さんの中には大学院に進学することを考えているまたは迷っている人、大学院について良く知らない人がいると思います。そのような人に参考になるよう、私の所属している食機能保全科学専攻(博

士前期課程；修士課程とも言います)を主な例として、大学院で学べることを紹介します。

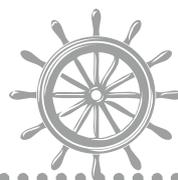
一般的に、博士前期課程では学部4年間で学んだことを基盤として、より高度な内容について学ぶこととなります。講義科目を受講するとともに、修士論文作成のための研究指導を指導教員から受けることとなります。

講義科目の内容は、学部のものより高度かつ専門性の高いもの、科目によっては授業担当教員の最新の研究内容が反映されたものになることもあります。一般に学部の時よりも少人数のクラスとなるので、取組次第では密度の高い充実した指導を受けられることでしょう。一方で、専門性が高まることによる、いわゆる「タコつぼ化」にならないよう、食機能保全科学専攻では、食機能保全科学基礎論Ⅱという、いわゆる研究室間インターンシップ的な科目も用意されています。これは、自分の指導教員は別の教員の研究室へ赴き、そこで行われている研究テーマや実験のエッセンスを体験して、視野を広げること目標とするものです。海洋生命資源科学専攻でも、同じ科目が開講されています。

なお、食機能保全科学専攻では、講義科目の大半を英語で開講しています。これは、英語力の強化にもつながると思います。最近ではインターネットを介した国際的な研究集会在が頻繁に行われるようになっており、これまで以上に、英語を使った研究発表や議論を行う機会が増えるものと思います。大学院に進学しても、英語学習を継続して頂きたいと思います。

修士論文作成のための研究活動は、大学院生活において大きなウェイトを占めます。私の研究分野は、いわゆる実験系ですので、研究室で様々な実験を実施して、その解析を行い、そして指導教員と結果についてディスカッションを行うという事になります。そして、素晴らしい結果が得られれば、学会発表や学術論文として公表し、そして最終的には修士論文としてまとめることとなります。その過程で、論理的な思考方法、文章の書き方をみっちり学ぶこととなります。実験手法を習得よりも、むしろ得られた結果を科学的知見と論理に基づいてまとめることの方が重要です。学生時代に学んだ実験手法は、いずれ技術の進歩と共に古くなり通用しなくなるでしょうが、論理的な思考方法、文章の書き方は一生役に立ち続けることでしょう。

食機能保全科学専攻は食品を研究対象としていますが、食品のような身近なものであっても、未解明なこと、解決しなければならない問題が山積みです。むしろ、身近なものだからこそ、簡単な問題は既に解決されてしまっており、一筋縄ではいかない問題が散見しているといつてよいでしょう。多くの方が食機能保全科学専攻に興味を持って頂き、その門をたたいていただけることを期待しています。



卒業論文・修士論文への 取り組み方

「卒業論文への取り組み方」

大学院海洋科学技術研究科 海洋生命資源科学専攻1年

津田 真咲

学部生の皆様、こんにちは。おそらく多くの4年生が今年の四月から研究室に配属され、今まさに四苦八苦しながら卒業研究に取り組み始めていることと思います。ここでは、私が昨年度卒業研究をするにあたって、大事なと思ったことについて、皆様の参考になればと思い書かせていただきたいと思います。

まず、大事なことは研究室の先輩方、先生方とよくコミュニケーションを取ることです。おそらくこれを読んでいる多くの人が、研究というものに初めて触れているのではないのでしょうか？先輩、先生方は、皆さんが今行っている卒業研究の分野の一番身近な経験者です。中には先輩方から引き継いだ研究を行っている方もいるかと思います。そうであればなおさら、研究について積極的に話を聞き頼るといいでしょう。

そして、前述したことに通ずることにはなりますが、報連相はできる限り徹底しましょう。たった一度きり



研究で飼育中の実験魚たち

しか実行できない研究、例えば組織のサンプリングなどを行う場合、一度殺してしまった生物は元には戻りません。そういったやり直しのきかない実験を行う場合は、それを実行する前に先生に確認することで予期せぬ事故を防ぐことができるでしょう。

以上つらつらと書きましたが、一番は楽しく研究室で生活し研究を行えることだと思っています。皆様が楽しく研究活動を行えることを祈っています。



卒業研究への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 海洋システム工学専攻1年

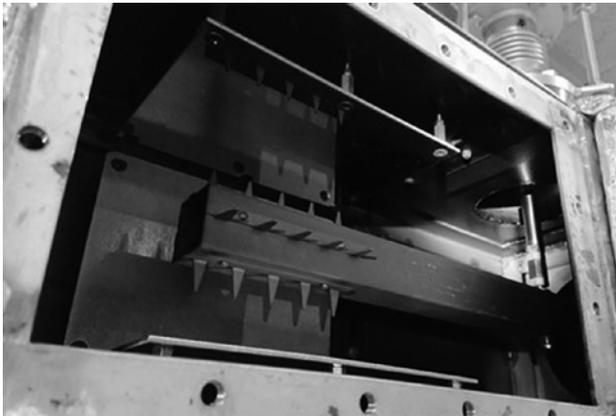
占部 智子

新型コロナウイルス感染症の流行により、授業のほとんどが遠隔環境での実施となるなど、私たちの生活に大きな転換が発生しました。授業や実習が対面実施に戻りつつある昨今ではありますが、再度感染が広がる可能性もあり、完全な終末は未だ遠いように思われます。

昨年度、私は卒業研究として、静電集塵により船用ディーゼル機関から排出される粒子状物質を低減する研究に取り組みました。その際、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、データ整理などのいくつかの作業をリモート環境のもと在宅にて実施する機会がありました。私の場合は今回の卒業研究を他の学生と協力して取り組んだのですが、リモート環境下での研究活動は私にとって初めての試みであったため、共同で研究を進める学生との意思疎通に問題が生じました。それぞれが在宅で作業を行ったことで、活発なコミュニケー

ションが図れず、同じ方向性を持って研究を進めているのかどうか不確かになってしまったのです。各々が明確に意思表示を行うことが唯一の解決策であると考えます。データ整理の方法や論文の作成など、重要な事項について意見交換できる場を事前に決めることが必要です。リモート環境におけるミーティングやチャット機能を活用した意思疎通、クラウドを利用したデータや資料の共有など、手段は様々あります。周囲との意思疎通は共同研究者を持たない場合においても重要です。先生方との活発なコミュニケーションが、より有益な卒業研究につながると思います。

大学4年間の学びの集大成である卒業研究の経験は、皆さんの今後の活動の糧となることと思います。皆さんが悔いなく全力を出し切ることができるよう祈っています。



卒業研究に使用したディーゼル排ガス用静電集塵試験装置

修士論文への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻1年

中村 柚咲

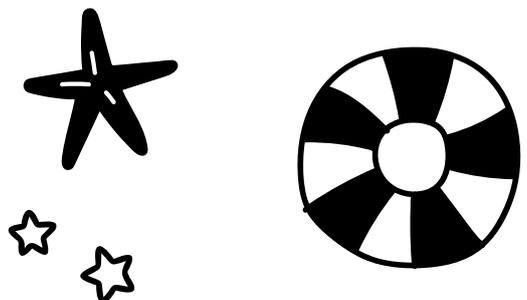
私は本学の博士前期課程を昨年度修了し、現在後期課程に在学しています。ここでは、自分の経験を基に修士論文の取り組み方について大切だと感じたことを述べます。

まず、早め早めの計画と行動です。博士前期課程1年次は授業が多く、夏頃から早くも就活がちらつき始めます。したがって、実験を進められる時間はごく僅かですので、学部生の間から修士論文を見据えて研究・実験を進めることが重要です。進学を志す学部生は、4年生までに基礎的な研究能力を身につけることが望まれます。

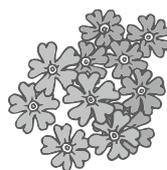
次に、外部での研究発表です。学会や学術誌等、学

外で発表することは、他の研究者からの質問や意見を受け、自らの研究を振り返り、質をさらに高めることができる貴重な機会です。発表にあたり、データや文章等の体裁を整える手間や指導教員とのやりとりで心が折れそうになることもあるかと思いますが、研究へのモチベーションが高まるとともに、修士論文執筆の良い訓練にもなりますので、在学中に挑戦することをおすすめします。

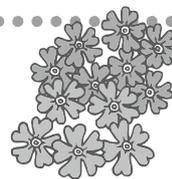
最後に、修士論文に取り組む過程を大切にしてください。良い実験結果を得ることはもちろん重要ですが、研究活動を通して、文献から正確な情報を素早く収集する、論理的に説明する、無駄のない文書を作成する等の能力を身につけることは、修士論文の執筆だけでなく、社会を生き抜くための大きな強みになると思います。ぜひ悔いの残らないよう研究活動に取り組んでいただければと思います。



卒業生より



業界で活躍している OB・OGの方々



卒業生として在学生の皆様に アドバイスしたいこと

- 2013年3月 海洋科学部海洋資源学科卒業
2015年3月 海洋科学技術研究科海洋生命科学専攻博士前期課程修了
2015年4月 富山県農林水産総合技術センター水産研究所配属

勘 坂 弘 治

私は地元である富山県の地方公務員として8年目を迎え、現在は富山県の水産研究所で働いています。まず、富山県の漁業について紹介します。富山県の海面における漁獲量の約8割が定置網による漁獲であり、ブリやホタルイカのような回遊性の魚種が主たる漁獲物です。また、急深な地形なので、シロエビやベニズワイガニのような中層や深海にすむ魚種が近場で獲れることも富山県の特徴の一つです。さらに、河川はサクラマスやアユの好漁場であり、全国から釣り人が訪れます。

水産研究所では、漁獲動向や資源量の研究、栽培漁業対象種の種苗生産技術の開発、漁場環境のモニタリング、河川におけるサクラマスやアユの生態調査など様々な業務を行っています。私もこれまでに魚病対策、アユやサクラマスの遺伝学的研究、シロエビやベニズワイガニの資源調査など様々な業務に携わりました。私の修士論文はサケマス類の繁殖生理についての研究でしたが、水産研究所では大学で専門的に学んだこと以外の研究に携わっています。ピペットで分子生物学の実験をしたり、船に乗って1週間近く航海したり、様々な業務があります。日々、新しい知識を身につけなければいけないと痛感します。また、地方公務員は

必ずしも研究業務に携われるわけではありません。私も行政担当になったこともあります。しかし、水産業界に携わっている限り、どのような業務が担当でも、大学時代に学んだ知識が生かされる場面が必ずあります。うる覚えでも、あの先生が言っていたことは、こういうことだったのかと感心する機会は何度もありました。ですから、在学生の皆様はたくさん専門科目をとって、たくさん知識を身につけてください。

大学時代を振り返ると、田舎者の私にとって東京での生活はすべてが刺激的でした。電車は長く、ビルは高く、人が多く、目まぐるしい生活でした。大学時代の友人とは、今でも連絡を取りますし、水産の世界にいるため、お世話になった先生方に会う機会も多いです。卒業後も水産に携わっていくつもりで在学生の皆様は、今の人脈を大切にすべきです。私が知らないことについて、友人にアドバイスをもらう機会は今でも多々あるので、皆さんも大学時代の友人や恩師を大切にしてください。

最後に地方公務員を受けようと考えている方に、2



市場に水揚げされたシロカジキと測定している私

つアドバイスをしたいと思います。地方公務員は一般企業よりも、結果が分かるのが遅いため、孤独な闘いを強いられるとともに、非常に焦ります。なので、同じ公務員試験を受ける仲間を見つけて、お互いに励ましあいましょう。また、試験なので必ずコツがあります。公務員試験に受かった先輩がいれば、勉強方法や試験問題についてアドバイスをもらってください。私に聞いてもらっても構いません。

このアドバイスが在学生の皆様の今後の一助になれば幸いです。富山県は海も山もきれいな場所なので、ぜひ遊びに来てください。

チャレンジ

2017年3月 海洋工学部 海事システム工学科卒業
2019年9月 IBM 入社

原 武 秀 美

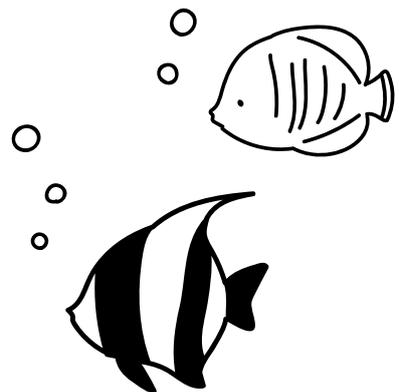
私は現在、大連のIBMにおいて企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）変革を支援するITコンサルをしています。海洋工学部では海事システム工学科に学び、卒業研究のテーマとしては「水中文化遺産」を選びましたが、卒業後、中国政府奨学生として、IMO認定の大連海事大学大学院へ進学、船舶運航管理経済の課程で修士号を取得しました。社会人とはなりましたが、私自身まだまだ学ぶ身であり続けていると考えています。

大学生活をより一層充実したものとするように、皆さんはどんな大学生活4年間にしたいと思っていますか。自分が過ごした大学生活は、海洋大学ならではの特殊な専門分野と環境のおかげで、とても充実したものとなりました。そして、その4年間の大学生活の成果として現在、ワクワクしながら毎日を過ごすことができていると感じています。今挑戦してみたいことは何か。自分が夢中になれることは何か。将来どういった自分になりたいか。自分に丁寧に向き合う機会を作って、ぜひチャレンジしてみてください。私の場合、外国で勉強してみたい、将来的には海外にライフスタイルの軸を置きたいと長年考えていたこともあり、大学の短期・長期交換留学制度を利用して留学もしてみました。プログラミングが苦手であったため、逆にあえてITベンチャーのインターンで優秀賞を取ることを目標に挑戦してみたり、船舶とは全く関係のない「歯科」について勉強してみて、在学中に歯科助手として働い

てみたりもしました。当時、このインターンの経験や歯科衛生の知識が将来役に立つとは全く想像もつきませんでした。

社会人となった現在は、外国での活動という希望との両立の中で、ITコンサルという仕事をしてします。例えば、目下ホットな話題であるSDGsをテーマに、ブロックチェーン技術でフードロスの削減を目指す取り組みや、日本の海運業界において、船員の働き方や安全を最先端技術でDX改革するようなプロジェクトに参画しています。また、時間を見つけては、様々な国の大学院の授業を聴講して、中国政府機関のスマートポートに関わる資格を取得してみたり、卒業研究以降触れる機会がなくなっていた「水中文化遺産」について改めてワークショップに参加してみたりもしています。先日、あるワークショップで学部時代の指導教員が登壇していて、偶然の再会を果たすこともできました。自分は、もちろん周囲の協力を得ながら、とにかく自分の好きなことに挑戦し続けています。直近では、興味がある分野に引き続きチャレンジしつつ、フランスやアフリカにライフスタイルの拠点を置きたいという目標も持っています。

ぜひ皆さんには、自分の好きなことや経験したことのないことにチャレンジして、自分の世界や可能性を広げてみて頂きたいと思います。興味のある分野ができたなら、思い切ってその世界に飛び込んでみていいかもしれません。些細なことでも、取り組んでいくうちに、そこから得られた経験から視野が広がり、充実した大学生活、そして将来のワクワクした自分につながると思います。皆さんの大学生活がより充実したものになるように願っています。



新任教員の紹介



海洋生物資源学部門 助教

宮本 隆典

2022年4月1日より海洋生物資源学部門（魚群制御学研究室）の助教に就任しました、宮本隆典（みやもとりゅうすけ）と申します。

私はこれまで、工学、農学、情報学のそれぞれの分野において研究に携わってきており、工学分野では超音波を用いた鉄鋼材料内部の非破壊検査、農学分野では視覚反応を利用した害虫の行動制御、情報学分野では機械学習を用いたヒト睡眠データ解析に取り組んできました。工学では学士、修士、博士の学位を、農学では修士、博士の学位を取得し、情報学では研究員として3年間勤務しました。現在の所属である魚群制御学研究室と無関係の経歴に思われるかもしれませんが、超音波などの物理現象を利用した計測技術、昆虫を通して身に着けた生物の知覚・行動に関する知見、機械学習の他分野への応用の経験のすべてを活かして、魚群行動の解明や制御技術の開発に関する研究に取り組みたいと思っています。

この原稿を執筆している現在、本学に着任してから2ヶ月が過ぎようとしているところですが、新たに体験することばかりで、わくわくした気持ちで日々を過ごしています。自分自身だけでなく、みなさんをわくわくさせるような研究・教育をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



海洋資源エネルギー学部門 准教授

淵田 茂司

令和4年4月に海洋資源エネルギー学部門に着任した淵田茂司（ふちだしげし）と申します。私の研究では「資源」の中

でも「金属資源」について取り扱い、広義の意味で「海洋環境の管理と利用」に関するテーマに取り組んでいます。世界的に金属資源、特に銅などのベースメタルや金などの貴金属、コバルトなどのレアメタルの社会的な需要が急速に高まっており、海底熱水鉱床やレアアース泥などの海底の金属資源利用を見据えた技術開発が進められています。私の研究では、金属資源を開発する際の環境負荷を抑制するためのルール作りや汚染物質の検出方法の開発、汚染物質や廃水の処理技術の開発など、持続的な開発を達成するための工学的研究を行っています。また、既に開発が実施された陸上鉱山を研究対象とすることもあります。国内の陸上鉱山の大部分は既に閉山していますが、有害な金属元素を含む酸性の坑廃水が半永久的に排出し続けます。それらの管理方法や処理技術、周辺環境の修復に関して、すでに多くの研究成果が蓄積されていることから、これらの海洋資源開発や管理技術への適用の可能性についても検討しています。さらに、廃鉱石や廃水を二次処理し、有用金属元素を回収し再利用するリサイクルに関する研究も行っています。これから学生の皆さんと一緒に、資源開発分野の様々な研究にチャレンジできることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



2021年度自治委員会報告書

●2021年度後期定例学生大会報告書

品川キャンパス 自治委員会議長
野口 龍太

1. 各委員会の活動報告および決算報告

各委員会の活動報告および決算報告を行い、全ての委員会の報告が承認されました。

報告内容は以下のとおりです。

●自治委員会2020年度決算

〈収 入〉	(円)
前期繰越金	462,470
自治委員会分配金	117,750
小口現金(両替金・お釣り)	26,402
利息	2
計	606,624
〈支 出〉	
消耗品費	10,178
印刷消耗品費	8,243
新歓チケット代返金	1500
計	19,921
〈来年度への繰越金〉	
収入	606,624
支出	19,921
来年度繰越金	586,703

2. 2021年度自治会費分配報告について

〈収 入〉	(円)
自治会費	
新入生(20,000円×295人)	5,900,000
編入生(10,000円×6人)	60,000
未納入者	- 640,000
(20,000円×31人+ 10,000円×2名)	
去年度12月以降納入者	1,120,000
(20,000円×56人)	
未納入者1名 2円のみ納入	2
計	6,440,002

〈支 出〉

サークル委員会	(72.5%)	4,487,751
海鷹祭実行委員会	(25%)	1,547,501
自治委員会	(2.5%)	154,750
印刷機積み立て代	(固定)	250,000
計		6,440,002

3. 2022年度自治会費分配案について

〈収 入〉	(円)	
自治会費		
新入生(20,000円×295人)	5,900,000	
編入生(10,000円×6人)	60,000	
計	5,960,000	
〈支 出〉		
サークル委員会	(72.5%)	4,139,750
海鷹祭実行委員会	(25%)	1,427,500
自治委員会	(2.5%)	142,750
印刷機積み立て代	(固定)	250,000
計		5,960,000



大学祭特集

実行委員長から

海王祭の紹介



今年の海王祭はお家でお楽しみください

第62回海王祭実行委員長
海洋工学部 海事システム工学科3年

大塚優毅

2022年6月4日～6月26日までオンライン開催されます海王祭におきまして実行委員長を務めております、大塚優毅と申します。

初めに、この場をお借りして私たち海王祭実行委員会より日頃の感謝をお伝えします。本学の海王祭開催意義に賛同していただき協力してくださった企業、組合の皆様また参加の意思を表明していただいた地元の方々、本学の学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第62回を迎える海王祭ですが、今回

も対面で行わずオンラインで開催することを決断いたしました。その理由としましては、皆様もご察しの通り新型コロナウイルス感染拡大を防ぐべく、という運びでございます。

昨年の海王祭対面中止を受けまして、今年は無事対面開催できることを願い日々準備を進めておりましたが、このような状況になってしまい、非常に残念です。しかし、海王祭の本来の目的であります海事普及につきましては、皆様に海の面白さを伝え、海運への興味を持っていただけるよう、例年と同様気合いを入れ、多くの企画を準備しております。

各企画の内容を6月26日まで海王祭のホームページ上に掲載しております。そのため皆様のお好きな時間、お好きな場所で海王祭にいらっしゃってください。

海王祭実行委員一同お待ちしております。



ニュース

&

トピックス

令和3年度学位記・修了証書授与式を挙行了しました

令和3年度学位記・修了証書授与式を、3月25日（金）にメルパルクホールにて挙行了しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を防止し、卒業生・修了生の新生活を守る観点から規模縮小開催としましたが、式典はオーケストラ部の演奏とともに、卒業生・修了生の卒業を祝う華やかな雰囲気の中での開催となりました。

井関学長は卒業生・修了生に向けた式辞で、「人類社会を根本的に改革するためには、皆さんの柔軟な発想が必要です。東京海洋大学で学んだことに自信とプライドを持って、社会を少しでも良い方向に導く主役になって欲しいと思います」と、期待の言葉を述べました。学長式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。

また、卒業生・修了生へ向けたいお祝いメッセージとして、本学（旧東京水産大学）ご出身の小野寺五典衆議院議員と本学の同窓会の一つである一般社団法人楽水会 会長 田畑 日出男様からご祝辞をいただきました。本年は来賓の方にご参加いただけませんでしたの

で、大学ホームページへ掲載しております。

なお、式典に参加できなかった皆様のために、当日の様子を撮影した動画（ダイジェスト版）を本学校友会ホームページへ掲載しました。（視聴には、校友会IDでのログインが必要となります。）



井関学長から代表者への学位記・修了証書授与



井関学長からの式辞

令和3年度学生表彰授与式、 学業優秀学生奨学金授与式、学会等各賞表彰式を 行いました(令和4年3月24日)

○学生表彰(学部)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、入学以来よく勉学に努め、優秀な学業成績をおさめた学部学生8名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

○学生表彰(大学院)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、研究活動において特に顕著な研究成果をおさめた学生11名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

○学生表彰(課外活動・社会活動)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、課外活動において優秀な成績をおさめた学生及び社会活動において優れた評価を受け、かつ、本学の名譽を著しく高めたと認められる学生2名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

○学業優秀学生奨学金授与式

東京海洋大学学業優秀学生奨学金規則に基づき、成績優秀な博士前期課程2年次在籍者で博士後期課程に進学する8名および国家公務員採用総合職試験合格者3名へ奨学金の目録が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生



井関学長(前列中央)と受賞した学生

○学会等各賞表彰式

特に顕著な学業成績をおさめた学部学生23名、大学院学生2名に対して、以下に記載した各学会等の表彰状および副賞が授与されました。

海洋会「海洋会賞」

日本機械学会「畠山賞」

日本船舶海洋工学会「奨学褒章」

日本航海学会「奨学ほう章」

空気調和・衛生工学会「振興賞学生賞」

海技教育財団「会長賞」

日本マリンエンジニアリング学会「優秀学生奨励賞(山下勇賞)」

日本マリンエンジニアリング学会「優秀大学院生奨励賞(林俊一賞)」

日本物流学会「物流研究奨励賞」

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学会等からのご来賓のご参列をご遠慮いただいたため、表彰状は、井関学長の代行により授与されました。



井関学長（前列中央）と受賞した学生

令和4年度入学式を挙行了しました

令和4年度入学式を4月7日（木）、メルパルクホールにて挙行了しました。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大を防止し、新入生の新生活を守る観点から規模縮小開催としましたが、式典はオーケストラ部の演奏とともに、入学を祝う華やかな雰囲気の中での開催となりました。

井関学長は新入生に向けた式辞で、「『チームで協力し、多様性を尊重し、異文化を受け入れながら、価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う力』を身に付けて欲しいと思います」と期待の言葉を述べました。学長式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。

本学客員教授（4/1より）で名誉博士のさかなクンも登壇し、新入生に向けた祝辞と直筆のお祝いイラストを披露しました。新入生は拍手で迎え、さかなクンの登場を大いに喜んでいる様子でした。

また、新入生へ向けたお祝いメッセージとして、本

学（旧東京水産大学）ご出身の小野寺五典衆議院議員、本学経営協議会委員の荻上紘一様からご祝辞をいただきました。本年は来賓の方にご参加いただけませんでしたので、大学ホームページへ掲載しております。

なお、式典に参加できなかった皆様のために、当日の様子を撮影した動画（ダイジェスト版）を本学校友会ホームページへ掲載しました。（視聴には、校友会IDでのログインが必要となります。）



さかなクンとお祝いイラスト



学長式辞



入学生代表宣誓

就職情報

令和3年度卒業者の就職先

海洋科学部・海洋生命科学部・ 海洋資源環境学部・水産専攻科

業 種	企 業 名
製造業	株式会社プレッジオ
	マルハニチロ株式会社
	フィード・ワン株式会社
	日東製網株式会社
	株式会社鈴廣蒲鉾本店
	株式会社桃屋
	プリマハム株式会社
	三菱商事ライフサイエンス株式会社
	ニッスイマリン工業株式会社
	株式会社合食
	株式会社明治
	横浜冷凍株式会社
	日本水産株式会社
	古野電気株式会社
	株式会社極洋
	株式会社マリンフーズ
	株式会社大島造船所
	株式会社コプラス
	株式会社日立パワーソリューションズ
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社
株式会社シマノ	
電気・ガス・ 熱供給・水道業	東京電力ホールディングス株式会社
	株式会社ジャパンガスエナジー
情報通信業	株式会社Vertex.
	株式会社ファイナンシャルブレインシステムズ
	株式会社エニグモ
	株式会社ラデックス
	日本プロセス株式会社
	ネットワンシステムズ株式会社
	株式会社東京技術計算コンサルタント
	NTTコムウェア株式会社
	CLINKS株式会社
	SCSK株式会社
	ESRIジャパン株式会社
	株式会社東洋信号通信社
	輪島屋鮮冷株式会社
運輸業、郵便業	津軽海峡フェリー株式会社
	ニッスイマリン工業株式会社
	上野トランステック株式会社

業 種	企 業 名
運輸業、郵便業	栗林マリタイム株式会社
	日本郵船株式会社
	サンエイ・マリン株式会社
	NX海運株式会社
	八馬汽船株式会社
	明治海運株式会社
	鹿児島船舶株式会社
	株式会社デュカム
	栗林商船株式会社
	出光タンカー株式会社
	株式会社せとうちクルーズ
	株式会社商船三井
	新日本海フェリー株式会社
	NYK LNG シップマネジメント株式会社
	卸売業、小売業
株式会社トーホー	
東京青果株式会社	
マルイチ産商株式会社	
コーンズ・モーターズ株式会社	
日本紙通商株式会社	
中央魚類株式会社	
株式会社辻野	
兼松株式会社	
スターゼン株式会社	
東都水産株式会社	
株式会社ショクリュー	
株式会社ナフコ	
株式会社合食	
金融業・保険業	アイフル株式会社
	株式会社日本政策金融公庫
学術研究、専門・ 技術サービス業	株式会社プライム・ブレインズ
	一般財団法人 日本食品分析センター
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構・水産資源研究所
	イオスエンジニアリング&サービス株式会社
	日本海洋事業株式会社
生活関連サービス業、 娯楽業	公益財団法人 東京動物園協会
	株式会社遊楽
	ワールドハイビジョンチャンネル株式会社
教育、学習支援業	国立大学法人 東京海洋大学
	宮城県気仙沼沼洋高等学校
	千葉県立館山総合高校

業種	企業名
教育、学習支援業	国立大学法人 鹿児島大学
	国立大学法人 長崎大学
複合サービス事業	株式会社ディーファイブコンサルティング
	株式会社ウィルグループ
	ホワイトエッセンス株式会社
	神奈川県厚生農業協同組合連合会
	ケーオーデンタル株式会社
	株式会社のうひ葬祭
公務	国土交通省北海道開発局
	厚生労働省
	海上保安庁
	海上自衛隊

業種	企業名
公務	水産庁
	東京都北区役所
	福島県庁
	富山県庁
	江東区役所
	沖縄県庁
	横浜市役所
	宇都宮市役所
	宮城県庁
	東京都庁
	青森県庁

海洋工学部・乗船実習科

業種	企業名
漁業	福一漁業株式会社
鉱業、採石業、砂利採取業	日鉄鉱業株式会社
建設業	山九株式会社
	東洋エンジニアリング株式会社
	深田サルベージ建設株式会社
	高砂熟学工業株式会社
	日本サルヴェージ株式会社
	株式会社五洋建設
	ジャパンマリコンナインテッド株式会社
製造業	キヤノン株式会社
	今治造船株式会社
	三菱電機株式会社
	ミネベアミツミ株式会社
	スタンレー電気株式会社
	株式会社三和ドック
	NOK株式会社
	ヤンマーエンジニアリング株式会社
	海洋電子工業株式会社
	東芝三菱電機産業システム株式会社
	BEMAC株式会社
	日本油化工業株式会社
	株式会社ダイフク
	花王株式会社
	株式会社オカムラ
	大正製薬株式会社
	情報通信業
株式会社TSソリューション	
中央システム株式会社	
株式会社日立情報通信エンジニアリング	
日本テレビ放送網株式会社	
商船三井システムズ株式会社	
株式会社日立産業制御ソリューションズ	
鉄道情報システム株式会社	
株式会社日立システムズ	

業種	企業名
情報通信業	富士ソフト株式会社
	株式会社サイバーエージェント
	株式会社NYK Business Systems
	株式会社東北
	株式会社日立アドバンスシステムズ
	農中情報システム株式会社
	株式会社パナソニックコネク
	SCSK株式会社
	株式会社ビーネックスソリューションズ
	株式会社ジム・コンピュータ・サービス
運輸業、郵便業	株式会社フジトランスコーポレーション
	飯野海運株式会社
	株式会社日立物流
	株式会社タイトーコーポレーション
	出光タンカー株式会社
	新日本海フェリー株式会社
	株式会社グローバル・オーシャン・デバイスロップメント
	株式会社宇徳
	アサガミ株式会社
	コマツ物流株式会社
	大王海運株式会社
	SBS東芝ロジスティクス株式会社
	日本通運株式会社
	田淵海運株式会社
	北海道旅客鉄道株式会社
	富士フィルムロジスティクス株式会社
	三井倉庫ロジスティクス株式会社
	NX・NPロジスティクス株式会社
	株式会社シーゲートコーポレーション
	三菱倉庫株式会社
	丸全昭和運輸株式会社
	日本郵船株式会社
	株式会社商船三井
商船三井客船株式会社	
川崎汽船株式会社	
明治海運株式会社	

業種	企業名
運輸業、郵便業	NSユニテッド海運株式会社
	鹿児島船舶株式会社
	共栄マリン株式会社
	共栄タンカー株式会社
	第一中央汽船株式会社
卸売業、小売業	(有)ドリーム・アイランド
金融、保険業	株式会社日本政策投資銀行
不動産業・物品賃貸業	株式会社マイマイハウス

業種	企業名
教育、学習支援業	独立行政法人 海技教育機構
サービス業	パーソルキャリア株式会社
	一般財団法人 日本海事協会
公務	国土交通省
	国土交通省関東運輸局
	国土交通省北海道開発局
	東京二十三区清掃一部事務組合
	航空自衛隊

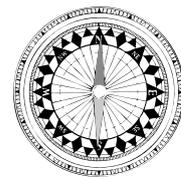
大学院海洋科学技術研究科

業種	企業名
農業、林業	香川県農業協同組合
鉱業、採石集、砂利採取業	株式会社INPEX
建設業	株式会社パナソニック環境エンジニアリング
	株式会社エコー
	東電設計株式会社
	株式会社三洋テクノマリン
	東亜建設工業株式会社
	日揮株式会社
	株式会社エフ・エンジニアリング
製造業	味の素AGF株式会社
	米久株式会社
	不二製油株式会社
	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
	日本製鉄株式会社
	日本水産株式会社
	日本ハムファクトリー株式会社
	日清フーズ株式会社
	日清オイリオグループ株式会社
	日新化工株式会社
	那須電機鉄工株式会社
	東洋紡株式会社
	東洋電装株式会社
	東洋製罐株式会社
	東芝キャリア株式会社
	昭和産業株式会社
	三菱電機株式会社
	三菱商事ライフサイエンス株式会社
	三菱ケミカル株式会社
	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
	古野電気株式会社
	月島食品工業株式会社
	栗田工業株式会社
	共立製菓株式会社
	丸大食品株式会社
	横河電機株式会社
	伊藤ハム株式会社
	レイズネクスト株式会社
	ミヨシ油脂株式会社

業種	企業名
製造業	ミテジマ化学株式会社
	フィード・ワン株式会社
	ハウス食品株式会社
	ハーゲンダッツジャパン株式会社
	テクダイヤ株式会社
	タカノフーズ株式会社
	スズキ株式会社
	シャープ株式会社
	サンヨー食品株式会社
	クレハ合繊株式会社
	クリヤマジャパン株式会社
	カゴメ株式会社
	エスビー食品株式会社
	岩井機械工業株式会社
	いなば食品株式会社
	いすゞ自動車株式会社
	TDK株式会社
	NECレノボ・ジャパングループ
	JX金属株式会社
	JFEスチール株式会社
	JEFエンジニアリング株式会社
	株式会社鈴廣蒲鉾本店
	株式会社明治
	株式会社石井鐵工所
	株式会社常磐植物化学研究所
	株式会社三菱自動車工業
	三菱ふそうトラック・バス株式会社
	株式会社ピカソ美化学研究所
	株式会社パナソニック コネクティッドソリューションズ社
	株式会社ニチレイフレッシュ
	株式会社シマノ
	株式会社ウェルファムフーズ
	株式会社Mizkan J plus Holdings
	株式会社JVCケンウッド
	株式会社桃屋
	株式会社極洋
	株式会社紀文食品
	株式会社富士通ゼネラル
	株式会社ニッポン
	株式会社ディスコ

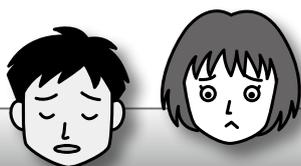
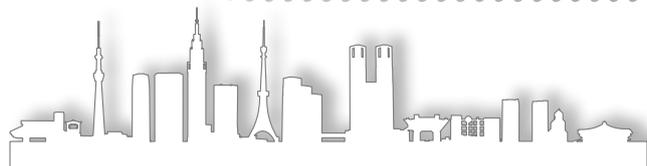
業種	企業名	
製造業	株式会社タダノ	
	株式会社キヨカワ	
	株式会社カミチクホールディングス	
	株式会社オカムラ	
	株式会社アタゴ	
	株式会社Mizkan Holdings	
電気・ガス・熱供給・水道業	メタウォーター株式会社	
	オルガノ株式会社	
	荏原実業株式会社	
	クボタ環境サービス株式会社	
	水道機工株式会社	
情報通信業	株式会社オージス総研	
	株式会社スバルコンピュータ	
	株式会社水産経済新聞社	
	株式会社セラク	
	株式会社テラスカイ	
	株式会社ハイシンクジャパン	
	株式会社日鉄ソリューションズ	
	株式会社bizplus	
	株式会社NearMe	
	株式会社NTTデータ	
	株式会社PanGu	
	株式会社エクサ	
	株式会社ハイ・アベイラビリティ・システムズ	
	JFEシステムズ株式会社	
	NECソリューションイノベータ株式会社	
	NRIデータiテック株式会社	
	NTTデータシステム技術株式会社	
	NTTテクノクロス株式会社	
	SCSK株式会社	
	キャノンITソリューションズ株式会社	
	ソフトバンク株式会社	
	フューチャー株式会社	
	フューチャーインスペース株式会社	
	ヤマトシステム開発株式会社	
	日発株式会社	
	日本放送協会	
	富士通Japan株式会社	
	運輸業、郵便業	NYKLINEシッピングマネジメント株式会社
		株式会社グローバル・オーシャン・ディベロップメント
		SBS東芝ロジスティクス株式会社
NX・NPロジスティクス株式会社		
旭タンカー株式会社		
三菱倉庫株式会社		
上野トランステック株式会社		
株式会社商船三井		
新日本海フェリー株式会社		
東急株式会社		
株式会社日陸		
日鉄物流株式会社		
日本ロジステック株式会社		

業種	企業名
卸売業・小売業	株式会社西松屋チェーン
	株式会社ニトリ
	株式会社フーディソン
	株式会社交洋
	中島水産株式会社
	株式会社カインズ
	ニチモウ株式会社
	デリカフーズホールディングス株式会社
	株式会社三ツワフロンテック
	ULTIMAS CO.,LTD
金融業・保険業	株式会社日本政策金融公庫
	商工組合中央金庫
学術研究、専門・技術サービス業	一般社団法人 海洋水産システム協会
	一般財団法人 自然環境研究センター
	株式会社アドマイオーラコンサルティング
	株式会社エンバイオ・エンジニアリング
	株式会社コアコンセプト・テクノロジー
	株式会社生活品質科学研究所
	株式会社東京久栄
	独立行政法人 国際協力機構
	独立行政法人 日本学術振興会
	株式会社日産技術コンサルタント
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構・水産資源研究所
	国立研究開発法人 海洋研究開発機構
	国立研究開発法人 科学技術振興機構
	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	WDB株式会社エウレカ社
いであ株式会社	
地熱技術開発株式会社	
千葉自然学校 大房岬自然公園	
国立大学法人 九州大学応用力学研究所	
教育、学習支援業	国立大学法人 東京海洋大学
	神奈川県立海洋科学高校
	浙江海洋大学
	独立行政法人 海技教育機構海技大学校
	チュラロンコン大学
医療、福祉	マルホ株式会社
複合サービス業	株式会社ワールドインテックR&D事業部
	中国ニトリ
公務	上海市投資促進サービスセンター（中国）
	防衛省（本省所在機関）
	水産庁
	海上自衛隊
	大分県庁
	千葉県庁
	神奈川県立 生命の星・地球博物館
	小笠原村役場
	名古屋市役所
	愛知県庁
	横浜市役所
	福岡県庁



学生相談室からの

お知らせ



学生相談室について

学生相談（カウンセリング）

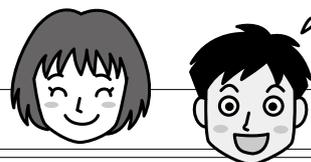
学生生活、進路、対人関係で悩みがある場合は、専門カウンセラーが相談に応じます。

話をしてみることで、あるいは自分の思いを表現してみることで、思いのほか気持ちが楽になったり、次

への展開へのきっかけが見つかったりもするものです。相談内容についての秘密は厳守されています。

当面の間、新型コロナウイルス感染症の対応として原則、電話でのカウンセリングとなります。なお曜日変更となる場合がありますので、HPをご確認ください。

品川キャンパス



場 所	大学会館 1 階学生相談室
日 時	※詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。 大学ホームページ — 「在学生の方へ」 — 「保健管理センター」 — 「学生相談」
相談員	井上先生（女性：臨床心理カウンセラー・月曜日担当） 高井先生（女性：臨床心理カウンセラー・木曜日担当）
予約方法	メールでご予約ください。 メール s-counseling@o.kaiyodai.ac.jp

越中島キャンパス

場 所	越中島会館 1 階 学生相談室
日 時	水・金曜日 12:00 ~ 16:00 ※詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。 大学ホームページ — 「在学生の方へ」 — 「保健管理センター」 — 「学生相談」
相談員	善積先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 河崎先生（女性：臨床心理カウンセラー・金曜日担当）
予約方法	直接相談室においでくださるか、保健管理センターでご予約ください。 1. 窓口にて 2. 電 話 03-5245-7357（保健管理センター事務室） 3. メール e-hoken@o.kaiyodai.ac.jp

令和4年度 学生支援教員

1年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	矢澤良輔	小祝敬一郎	
	食品生産科学科	渡邊学	耿婕婷	
	海洋政策文化学科	大野美砂	工藤貴史	
海洋工学部	海事システム工学科	金岡京子	増田光弘	福田 巖
	海洋電子機械工学科	清水悦郎	木船弘康	盛田元彰
	流通情報工学科	森下 稔	中井拳吾	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	鈴木直樹	今孝悦	山本絢子
	海洋資源工エネルギー学科	稲津大祐	三島由夏	

2年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	近藤秀裕	加藤豪司	
	食品生産科学科	小山寛喜	長阪玲子	
	海洋政策文化学科	中原尚知	原田幸子	
海洋工学部	海事システム工学科	近藤逸人	榎野 純	内田洋子
	海洋電子機械工学科	章ふえいふえい	藤野俊和	米田昇平
	流通情報工学科	中川雄二	関口良行	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	神谷充伸	中島主恵	溝端浩平
	海洋資源工エネルギー学科	内田圭一	鶴我佳代子	

3年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	寺原 猛	壁谷尚樹	
	食品生産科学科	松本隆志	高橋希元	
	海洋政策文化学科	柿原 泰	松井隆宏	
海洋工学部	海事システム工学科	村井康二	田村祐司	古谷雅理
	海洋電子機械工学科	大貫 等	小池雅和	井原智則
	流通情報工学科	竹縄知之	麻生敏正	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	高橋美穂	村瀬弘人	森 直文
	海洋資源工エネルギー学科	谷 和夫	井田徹哉	

4年生

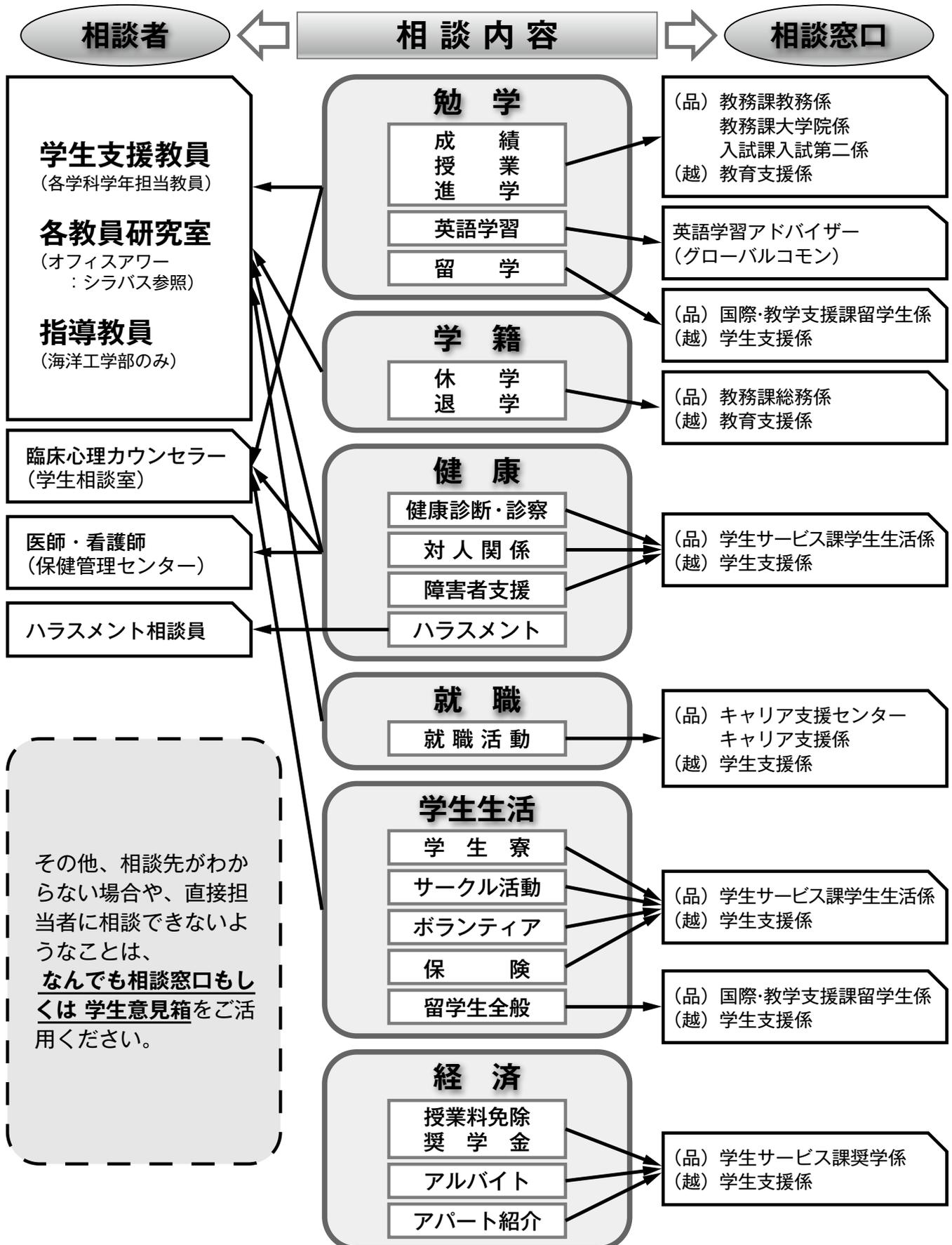
学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	團 重樹	矢澤良輔	
	食品生産科学科	久田 孝	柴田真理朗	
	海洋政策文化学科	日臺晴子	大石太郎	
海洋工学部	海事システム工学科	岡崎忠胤	高木直之	西崎ちひろ
	海洋電子機械工学科	井上順広	國吉 直	後藤慎平
	流通情報工学科	渡邊 豊	生天目知美	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	山中寿朗	神尾道也	牧田寛子
	海洋資源工エネルギー学科	下島公紀	古山精史朗	

4年生

(旧カリキュラム)

学部	学科	教員氏名		
海洋科学部	海洋環境学科	石田真巳		
	海洋生物資源学科	團 重樹	矢澤良輔	
	食品生産科学科	石崎松一郎	小川美香子	
	海洋政策文化学科	佐々木剛	婁 小波	

本学の学生相談体制について



お知らせ

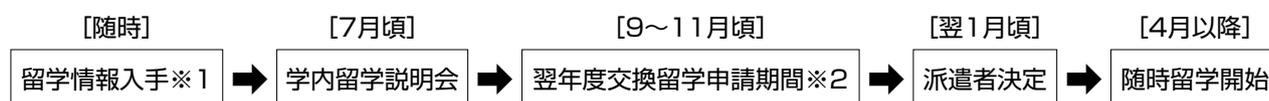
交換留学をしてみませんか？

新入生の皆さん、在学生の皆さん、新年度はいかがお過ごしでしょうか。

さて、東京海洋大学では2022年5月現在、世界の16カ国・地域の49大学と交換留学に関する協定（学生交流協定）を締結しています。交換留学とは、協定校へ3か月～最長1年間留学できる制度で、協定に基づき「受け

入れ大学は入学科、授業料を徴収しない」「留学先で取得した単位は、審査のうえ本学の単位に認定できる」「協定校から生活面、教育面での指導や、宿舍申請のサポートを受けられる」ほか、「専門的な講義を履修できる」など、個人的に語学学校などへ留学するのに比べて様々なメリットがあります。皆さんもぜひ留学してみませんか？

◆毎年の申請の流れ



※1 本学担当窓口で配布する「留学の手引き」や各協定校のHPをご覧ください。

※2 留学開始時期によっては、申請期間後も受け付けることがあります。

◆留学できる大学（2022年5月1日現在）

(中国)哈爾濱商業大学、大連海洋大学、上海海洋大学、広東海洋大学、浙江海洋大学、大連海事大学、上海海事大学、中国海洋大学、集美大学、華東理工大学、華東師範大学、香港大学生物科学学院 (台湾)台湾海洋大学、高雄科技大学、台湾大学理学院 (韓国)釜慶大学校、全南大学校、韓国海洋大学校、木浦海洋大学校、釜山大学校、江原大学校 (インドネシア)ボゴール農科大学、ハサヌディン大学、ディポネゴロ大学 (フィリピン)サンカルロス大学 (タイ)カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソンクラ大学、マエファラン大学、マヒドン大学、ブラパ大学、ワライラック大学 (ベトナム)カントー大学、ハノイ工科大学 (カナダ)ヴィクトリア大学 (オーストラリア)タスマニア大学 (トルコ)エーゲ大学、イスタンブール大学、チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学、ムーラ・シツッキ・コシマン大学水産学部 (アイスランド)アイスランド大学、アクレイリ大学 (ノルウェー)ノルウェー北極大学、ノルウェー科学技術大学、スタバングール大学理工学部 (ペルー)ラ・モリーナ国立農業大学 (ブラジル)サンパウロ大学 (アルゼンチン)サンマルティン大学 (ナミビア)ナミビア大学

◆交換留学の担当窓口

(品川キャンパス) 学務部国際・教学支援課留学生係

(越中島キャンパス) 越中島地区事務室学生支援係

申請可能な留学支援の奨学金について（返済不要）

【学内の奨学金】

①東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金(V種)

【学外の奨学金】

②日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)

③文部科学省トビタテ!留学JAPAN

※2022年度以降の募集の有無については窓口にお尋ねください。

※上記以外の一般的な奨学金((独)日本学生支援機構の第1種、第2種奨学金等)を受給している場合、必ず留学前に大学に相談してください。事前手続きをしないと返納になることがあります。

国立科学博物館および国立美術館の利用について

本学は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ」および「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しております。

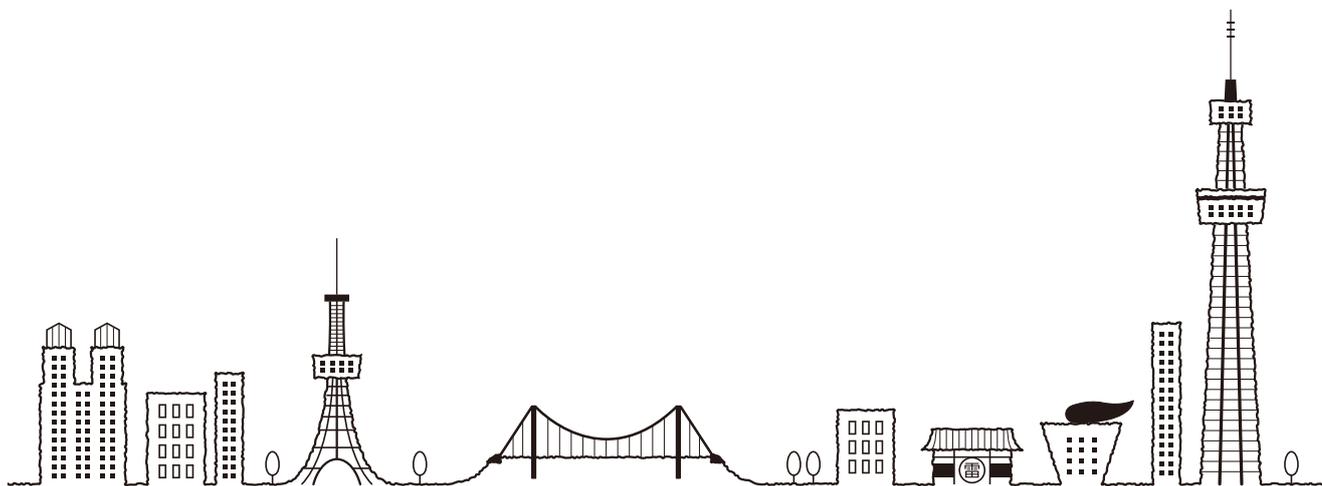
◆国立科学博物館 大学パートナーシップ利用可能施設

施設名	住 所
国立科学博物館(上野本館)	東京都台東区上野公園7-20
附属自然教育園	東京都港区白金台5-21-5
筑波実験植物園	茨城県つくば市天久保4-1-1

本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が無料で利用できるほか、特別展・企画展を割引料金で鑑賞できるなどの特典があるので、ぜひご利用ください。

◆国立美術館 キャンパスメンバーズ利用可能施設

施設名	住 所
東京国立近代美術館	東京都千代田区北の丸公園3-1
国立西洋美術館	東京都台東区上野公園7-7
国立新美術館	東京都港区六本木7-22-2
国立映画アーカイブ	東京都中央区京橋3-7-6
国立工芸館 (東京国立近代美術館工芸館)	石川県金沢市出羽町3-2



緊急時連絡システムについて

(さくら連絡網)

1. 緊急時連絡システムとは

本学のすべての学生・教職員と緊急時に連絡をとるためのメール・LINE・アプリによる配信システムです。

- ①台風・地震等の自然災害やインフルエンザ流行等による**緊急の休講等**を連絡します。
- ②**災害時の安否確認**や健康状態の収集手段としても使用します。
- ③その他、掲示板で告知するお知らせの中で緊急性があり重要と判断するお知らせ等の連絡をします。

2. 登録方法

携帯電話・スマートフォン等の携帯端末や自宅PC等の**複数のメールアドレス（4件まで）**、LINE、アプリも登録できます。**必ず登録してください。**

3. 登録手順

(1) さくら連絡網登録用QRコードまたはURLにアクセスします。

QRコードはこちら →



URLはこちら → <http://390390.jp>

URLを直接入力した場合は、
認証コードの入力を求められます。
認証コード：204 441 4

(2) 連絡を受け取りたい方法を**【LINE】**、**【アプリ】**、**【メール】**から選びます。（※3種類とも登録できます。）

(3) **【LINE】**を選んだ場合

- ①LINEの友だち追加ボタンから登録（追加）します。（トークから登録開始）
- ②認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【アプリ】を選んだ場合

- ①さくら連絡網のアプリをインストールします。
- ②アプリを起動して、認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【メール】を選んだ場合

- ①登録用メール送信画面に切り替わるので、そのまま送信します。（※メール本文は変更しないでください。）
- ②さくら連絡網からメールで登録用のURLが届きます。
- ③URLにアクセスして、登録画面からIDとパスコードを入力します。

(4) メニュー画面（以下、マイページといいます）が表示されたら登録完了です。

4. メール受信時の注意

- ①緊急時連絡システムでは、メール、LINE、を受信者が開封したかどうかの確認できるシステムです。
また、アンケート形式で安否確認を行う場合もあります。
受信した場合は、必ず開封し、内容を確認した後、指示に従って回答してください。
- ②登録用メールが届かない場合は、ドメイン指定受信に「school-i.net」を追加登録してください。
- ③マイページ (<https://390390.jp/parent/menu>) をブックマーク（スマートフォンの場合はホーム画面に追加）しておくと、後日、メールアドレスの変更等を行う際に便利です。また、簡単ログイン設定をしておくと、次回からワンクリックでマイページにアクセスできます。
- ④配信先の変更を希望する場合やアドレス自体を変更した場合は、マイページのメニューの「連絡先を追加」から新し

い連絡先を追加するとともに、「登録情報確認」から古い連絡先を削除してください。

- ⑤ログインID、パスコードは、各自で管理して下さい。（入学時に、学部生には大学メールアドレスに配信。大学院生、非正規生には紙で配付しています。）
- ⑥パスコードを紛失した場合は、以下の問合せ先へご連絡ください。
- ⑦緊急時連絡システムは、大学からの送信専用アドレスです。
上記のアンケート形式での回答以外は、大学側では内容の確認ができませんのでご注意ください。

5. 個人情報の取り扱いに関して

緊急時連絡システムにご登録いただいたメールアドレス等、個人情報に関しては本学個人情報保護規則に則り厳正な取扱いをいたします。また、上記の目的に限り使用し、他の目的で使用することはありません。

EMERGENCY CONTACT SYSTEM

“さくら連絡網 (SAKURA RENRAKUMOU REGISTRATION)”

What is the Emergency Contact System?

The purpose of this system is to contact students, professors and university staff members by email in the following cases:

1. to inform them when classes are suddenly canceled due to a natural disaster (typhoon, earthquake), a flu epidemic or other reasons
2. to gather information about the safety and health of university members after a disaster
3. to inform urgent and important information displayed on the university's notice boards

How to register

Please register multiple mail addresses (up to Four) or LINE or app of mobile terminals such as mobile phones, smart phones, and home PC in order to confirm the correspondence from university in emergency surely and promptly. Please be sure to register.

Registration process

1. Access the QR code or URL for Sakura Renrakumou registration.

QR code



URL

<http://390390.jp>

2. Choose a method by which you would like to receive from the university, “LINE” or “app” or “Email.”

*You can also register both.

3. When you choose **“LINE”**,

- ① register (add) from LINE's Add Friends button. (i.e., start from “Talk” page).
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

When you choose **“app”**,

- ① Install Sakura Renrakumou app.
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

When you choose **“Email”**,

- ① the page moves to the registration mail sending screen, please send the mail.
*Please do not change the mail body.)
- ② receive an email for registration from Sakura Renrakumou.
- ③ access the URL and enter the ID and passcode on the registration screen.

4. Registration is completed when the menu screen is displayed.

Notes

- The system is configured to detect whether recipients have accessed their messages. It is also used to gather information about the safety of the registered community through questionnaires. When you receive it, please ensure that you open the message and reply according to the instructions.
- If you fail to receive the registration form after sending the registration email, please check your mobile phone's spam filter settings. Add the domain name school-i.net to your list of authorized contacts.
- Add the system login page (<https://390390.jp/parent/login>) to your bookmarks to easily access your email and passcode settings.
- Manage your ID and passcode carefully, and make sure that you change your passcode after logging in for the first time.
- To change your delivery settings, register a new email address.
- If you forget your passcode, contact the responsible section using the contact details below.
- The system is a send-only address. Please keep in mind that the university cannot receive emails sent to this address.

Privacy policy

Email addresses and other personal information registered on the system are strictly protected according to the university's privacy policy. The system is used exclusively for the purposes stated above.

Contact

General Affairs Department, General Affairs Division
Email: so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp Tel: 03-5463-0354

重要!

ネットワーク障害防止のための注意事項

キャンパス内で、ネットワーク停止が頻発しています。
研究室内の配線の点検をお願いします。

ループ状にケーブルを接続しない

ケーブルの両端をネットワーク機器に接続すると、出口のない通信パケットがネットワーク内で増大し、フロア全体や建屋全体が通信不能になるなどの重大な障害が引き起こされます。利用しないケーブルは機器から取り外してください。



古いハブ、壊れた LAN ケーブルを使用しない

古くなったプラスチック製のハブ(HUB、Switch)は、熱暴走等でフロア全体の通信障害の原因となることがあります。壊れた配線やコネクタの損傷も通信トラブルの原因になる場合があります。導入後の年数や破損状況などを確認し、適宜、買い替えましょう。

→ **金属製ケースのハブがオススメ**です。放熱に優れ、安定して長く使えます。
詳しい型番などは下記窓口にお問い合わせください。

研究室内のルータの設定・接続を正しく行う

研究室で個別に設置したブロードバンドルータ、無線 LAN ルータの DHCP 機能の誤設定により、フロアや建屋全体での通信障害につながる場合があります。ネットワークケーブルが正しく接続されているかを点検してください。

→ **「WAN」「LAN」を間違えると障害が発生します!**

古い OA タップの使用、定格電流を超えた使用や、タコ足配線は**火災の原因**になりますので、注意してください。



注意

PC は最新の状態にアップデートしてください

OS の脆弱性を狙ったウイルスによる情報漏えい被害が世界的に報告されています。利用している OS やウイルス対策ソフトを常に最新の状態を保つようにしてください。私有のノート PC でも、大学配布のウイルス対策ソフトをインストールすることができますので、是非活用してください。

Windows XP、Vista、8、Mac OS X、macOS の古いバージョンは、メーカーサポートが終了しています。これらの OS をお使いの場合は速やかに最新の OS に更新してください。
現在利用可能な OS は、Windows 11、Windows 10、Windows 8.1、最新バージョンの macOS です。

PC 等を廃棄する際はデータの消去をしてください

廃棄するパソコン等からの情報流出を防ぐため、ハードディスク、SSD 等の記録媒体の破壊装置、消去装置を利用してください。下記窓口にお持ちください。

情報システムに関する全学問合せ窓口

メール ict-support@o.kaiyodai.ac.jp 内線 0446

附属図書館 (品川) 1階事務室内 (担当: 学術情報課情報企画係)

大学配布ソフトウェアの入手方法 <https://sites.google.com/site/kaiyonet2016/>

Important!



Precautions for Preventing Network Failure

Network outages occur frequently on campus.
Check the wiring inside the research office.

Do not connect the cable in a loop (as in the picture.)

Connecting both ends of a cable to network equipment can cause serious obstacles. For example, communication packets without an exit increase within the network, making the entire floor or building unreachable. Remove unused cables from the equipment.



Do not use old hubs or broken LAN cables

An old plastic hub (HUB, Switch) may cause communication failure of the entire floor due to thermal runaway. Damaged wires and connector damage may also cause communication trouble. Check the years of use and state of damage and replace as necessary.

→ A hub with a metal case is recommended. It is stable, long-lasting, and provides excellent heat dissipation. For a detailed model number, contact the Inquiry Center given at the bottom of this page.

Set up and connect the router in the office correctly.

Misconfiguration of the DHCP function on the broadband router and wireless LAN router individually installed in the offices may lead to communication failure on the floor or the entire building. Check that the network cable is properly connected.

→ If "WAN" and "LAN" are confused, network failure will result! Use of old OA taps, use exceeding the rated current, and use of power strips may cause fire. Beware.



Caution

Optimize your PC with the latest updates



Information leakage due to viruses targeting OS vulnerabilities is reported worldwide. Make sure that the operating system and antivirus software you are using are kept up to date. Even on a private notebook PC, you can install the university-distributed antivirus software. Take advantage of it by all means. Manufacturer support has ended for Windows XP, Vista, 8, Mac OS X, and old versions of macOS. Update to the latest OS promptly if using these OS. The currently available OS are Windows 11, Windows 10, Windows 8.1, and the latest version of macOS.

Delete data when discarding a PC, etc.

To prevent information leakage from discarded personal computers, etc., use data destruction and erasure devices for recording media such as hard disks and SSDs. Please bring them to the following counter:

Information System Inquiry Center

Email ict-support@o.kaiyodai.ac.jp Extension 0446

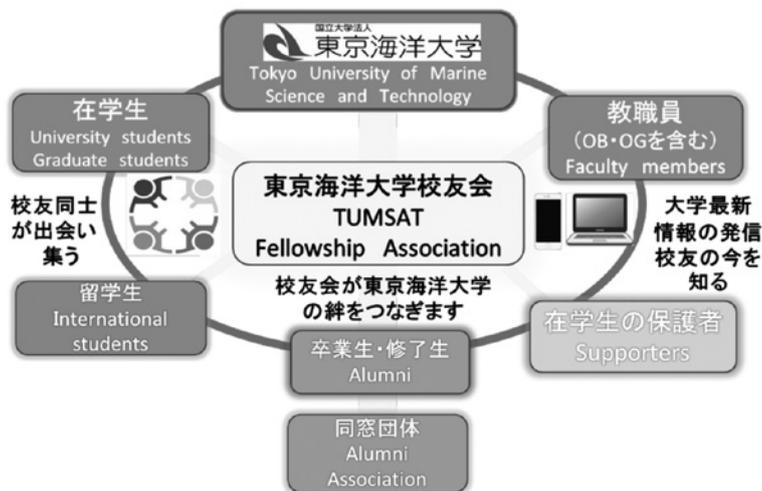
TUMSAT Library (Shinagawa) Office, first floor

To obtain University distribution software, contact: <https://sites.google.com/site/kaiyonet2016/>

東京海洋大学校友会のご案内

Q1. 「東京海洋大学校友会」とは何ですか？

東京海洋大学は、2017年4月の新学部「海洋資源環境学部」設立を機に国内における唯一の海洋系総合大学として体制を強固にしました。今後、社会全体に強くその存在をアピールしていくため、2018年4月、全学的に「校友」同士の交流を活発化させ、本学の発展に寄与することを目的として、「東京海洋大学校友会」を発足しました。



Q2. 「校友」とは誰ですか？

東京海洋大学および東京水産大学、東京商船大学等前身校の卒業生、在学生、在学生・卒業生の保護者、教職員の皆さまです。ホームカミングデーや「校友」限定イベントも企画し、「校友会ホームページ」や「校友会メルマガ」でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

Q3. 「校友会ホームページ」とは何ですか？アカウントはいつ貰えますか？

SNS機能、校友会メルマガ、公認課外活動団体ポータルサイトなど様々な機能を備えた「校友」限定ホームページです。「校友」の皆さまには個別アカウントを配布しております。(登録及び会費は無料です。)



海洋大の「今」が分かるコンテンツを少しずつ充実させています。開発中の機能もありますが、ぜひ、実際に使ってみてください。



(校友会ホームページ) QRコード

【アカウント取得方法】

- 新入生の皆様：ご入学後、大学から付与されるメールアドレス（～@edu.kaiyodai.ac.jp）宛に校友会ホームページのID・パスワードを配布しています。
- 保護者の方・卒業生の方：校友会ホームページの「新規登録」ボタンから申請をお願いいたします。校友会事務局で内容を確認後、ID・パスワードを送付いたしますので、分かる箇所は可能な限りご入力をお願いいたします。（在籍確認の関係上、申請いただいた後、お時間をいただいで対応となります。）

また、本学卒業生を支援する同窓組織として「楽水会」「海洋会」があります。本学卒業生との強固なネットワークを築いておりますので、ぜひご加入ください。
 楽水会：<http://rakusui.or.jp/>
 海洋会：<http://www.kaiyo-kai.com/>

校友会に関する問合せ先：
 東京海洋大学校友会事務局
 電話番号：03-5463-4014
 メールアドレス：koyukai@o.kaiyodai.ac.jp

掲 示 版

薬物の乱用について

薬物の乱用は、本人の精神と身体に危害を及ぼします。また、友人や家族関係の崩壊にもつながるなど、本人だけでなく、社会全体に計り知れない影響をもたらします。このため、薬物の所持や使用は法律で禁止されており、違反者は厳罰に処せられます。

薬物に対して安易な気持ちや一時の興味で接することのないよう十分注意してください。

盗難に注意

下記の事項を守り、自己管理を徹底してください。

- ・貴重品は、できる限り大学には持参しないでください。
- ・やむを得ず所持する場合は、各自でロッカーに鍵をかけて管理してください。
- ・鍵は安易に解錠出来ないもの（ダイヤル式など）を選んでください。

悪質商法等に注意

消費者契約等に関するトラブルが増加しています。うまい話には要注意です。少しでも疑問を感じたら契約しないでください。また、身に覚えのない請求などは支払わないでください。

訪問販売や電話勧誘販売など、特定の取引の場合に、一定期間内ならば理由を問わず解約できるクーリング・オフ制度があります。もしも被害に遭ってしまったときは消費生活センターに相談してください。

カルト団体等の偽装勧誘に注意

キャンパス内において、自らが宗教団体であることを名乗ることなく、サークル活動や自主ゼミと称し、特定の反社会的なカルト団体に引き込まうとする「偽装勧誘」の事例があります。

声を掛けられておかしいと感じた場合はキッパリと断り、安易に電話番号、メールアドレス等を交換しないでください。また、不審な団体と感じたとき、あるいは勧誘活動を受けた場合は、下記まで知らせてください。

- 品川キャンパス：学生サービス課学生生活係
- 越中島キャンパス：越中島地区事務室学生支援係

飲酒についての注意事項

(1) 未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

アルコールには麻酔作用があるので、未成年者が飲み方や適量もわからず無理に飲むと、急性アルコール中毒を起こしやすいといわれています。もし、誰かに勧められても、きちんと断ることが大切です。

(2) 飲酒の強要は絶対にしないこと。

未成年者やお酒に弱い方にお酒を強要することは絶対にしないでください。

(3) 飲酒運転は厳禁です。

「道路交通法」では飲酒運転のほか、飲酒者への車両の提供、運転者への酒類の提供、飲酒運転の車への同乗についても禁止されており、厳しい罰則が課せられます。

SNS、ツイッター、ブログ等の利用に関する注意事項

Facebookやツイッターに代表されるSNS（ソーシャルネットワークサービス）、あるいはブログなどを利用していると思いますが、インターネット上に書き込んだ内容は全世界に公開されることとなります。転載・拡散された場合等には、長期間ネット上に残り、何らかのきっかけで問題となることがあります。SNSなどインターネットへの書き込み、写真や映像の掲載・投稿には十分注意し、個人情報は書き込まないようにしてください。

大学ホームページ「在学生の方」－「情報セキュリティ」－「情報倫理ガイドライン」何か困ったことがあれば、周りの人に相談するようにしてください。SNSの公式サイトヘルプや問合せ窓口なども参考にしてください。

